



2020年3月期 決算説明会

2020年5月18日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、いかなる法域においても、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績の保証を意味するものではなく、当社グループのビジネスモデル及び戦略の成功、当社グループの事業に影響を与える金融市場及び外国為替の世界的な政治的及び経済的傾向及び変動、当社グループの経営陣の主要メンバーに関する不測の事態、子会社、関連会社及び合併会社に対する当社グループの投資に帰因するリスク、技術及びビジネスモデルの変化に対応する当社グループの能力、競争及び競争的要因、受容可能な条件で十分な資金を保証する当社グループの能力、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピー及びエスピー・デルタ・ファンド（ジャージー）エル・ピーを含むSBファンド（以下に定義されます。）並びにこれらに対する当社グループの投資及びその資産の譲渡に影響を与える要因、当社グループの通信事業（通信ネットワーク容量、他社の管理及び資産への依存並びに電磁波に伴う健康リスクに関する規制の影響を含みます。）に関するリスク、再生可能エネルギー事業に関するリスク、法律、規制及び法制度並びにそれらの違反に起因する行政処分その他命令の変更、会計制度及び税制の変更、当社グループの事業及び投資のグローバル性に起因するントリーリスク、知的財産に関する問題、情報漏洩及びセキュリティ、人的ミスその他要因によるサービスの停止又は質の低下、自然災害、事故その他予測不可能な事由、米国その他の地域における国家安全保障政策、訴訟、スプリントとTモバイルの合併案に関する問題、並びにその他の要因を含みこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、功績又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、功績又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、功績又は財務状況に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであると保証するものではなく、実績、業績又は功績は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依存してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測又は予想を示すものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引を決定する際に依存してはなりません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在に、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引法（以下「証券取引法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引法ルール12g3-2(b)に従って証券取引法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に記載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を負うものではないことを表明します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供のみを目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はソフトバンクグループ株式会社の子会社（以下「SBファンド運用会社」といい、SBインベストメント・アドバイザー（UK）エル・ティー・ディー及びその関連会社を含みます。）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」といい、ソフトバンク・ビジョン・ファンド・エル・ピーを含みます。）のリミテッド・パートナーシップ持分若しくは同等の有限責任持分の売却の申込み若しくは購入の申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依存してはなりません。

疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、SBファンド運用会社により運用される従前のファンドであり、投資家に対して販売されていません。SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮すべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する言及は、それに含まれる範囲で、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明するためだけに述べられたものであり、いずれか特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドの各投資の投資パフォーマンスは異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

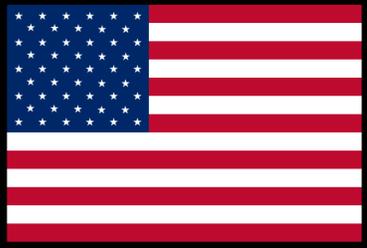
過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

SBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、本資料に記載されるパフォーマンス情報と著しく異なる可能性があります。本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むものである、又は、将来行われる投資が本資料に説明される投資と質又はパフォーマンスの点で同等であると仮定すべきではありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はソフトバンクグループ株式会社が、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

1929年 世界恐慌

NYダウ平均株価



世界恐慌前の最高値
\$381
(1929年9月)

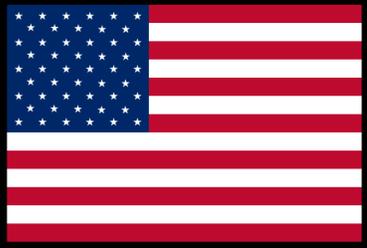


10分の1

(1929年-1932年)

1929 '32 '35 '38 '41 '44 '47 '50 '53 (年)

NYダウ平均株価



世界恐慌前の最高値
\$381
(1929年9月)

世界恐慌前水準に回復
\$383
(1954年11月)

世界恐慌後の底値
\$41
(1932年7月)

25年かけ回復

(1929年-1954年)

1929 '32 '35 '38 '41 '44 '47 '50 '53 (年)

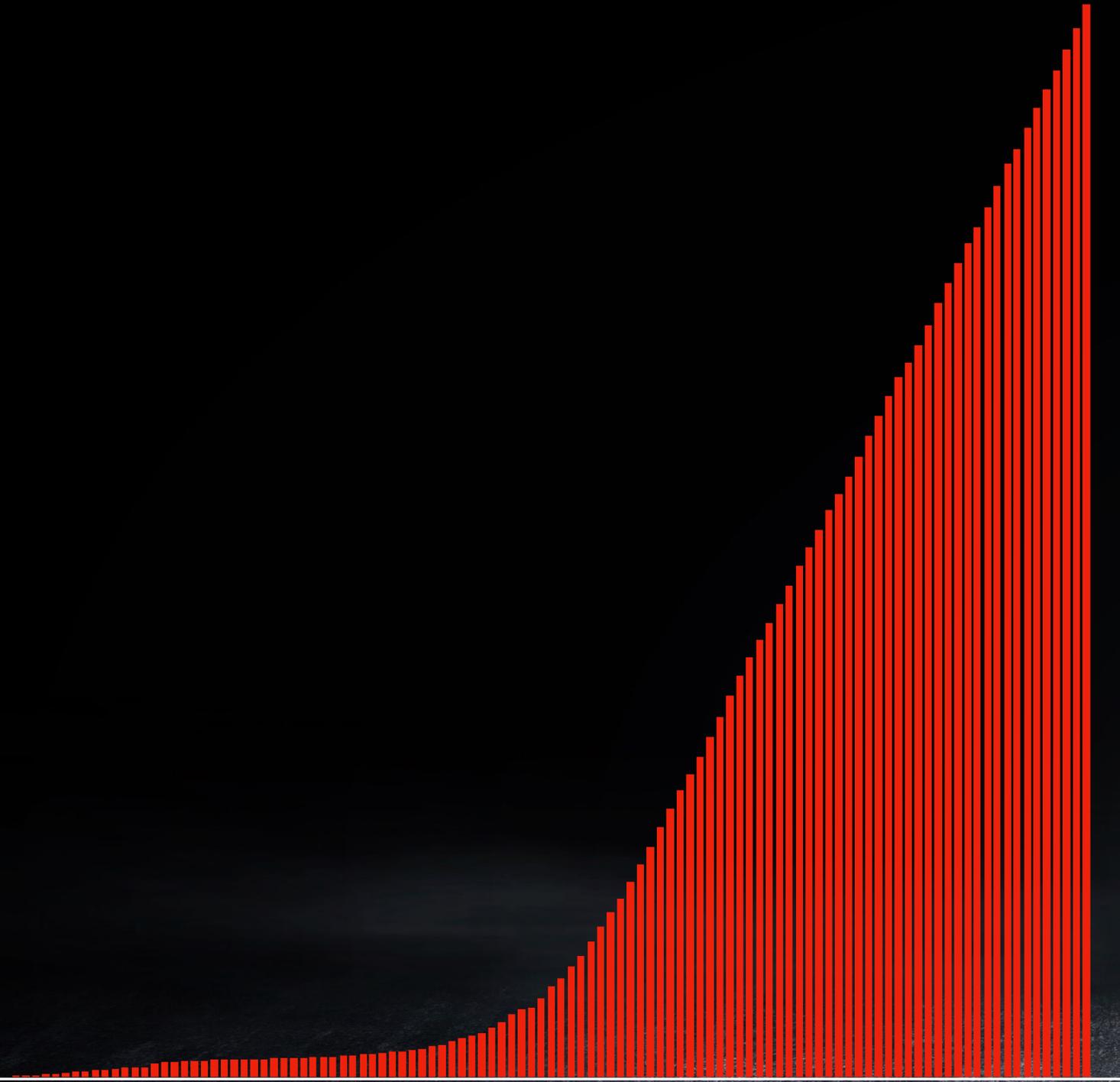
2020年 新型コロナウイルス

累計感染者数 (世界)

453万

急拡大

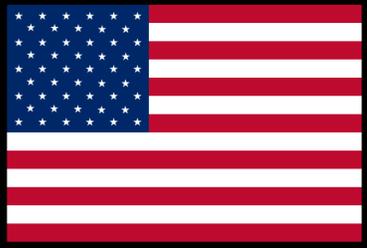
(人)



'20年1月 '20年2月 '20年3月 '20年4月 '20年5月

旅行への影響

(空港での保安検査を受けた旅行者数・対前年比*)



急減



2020年5月16日時点

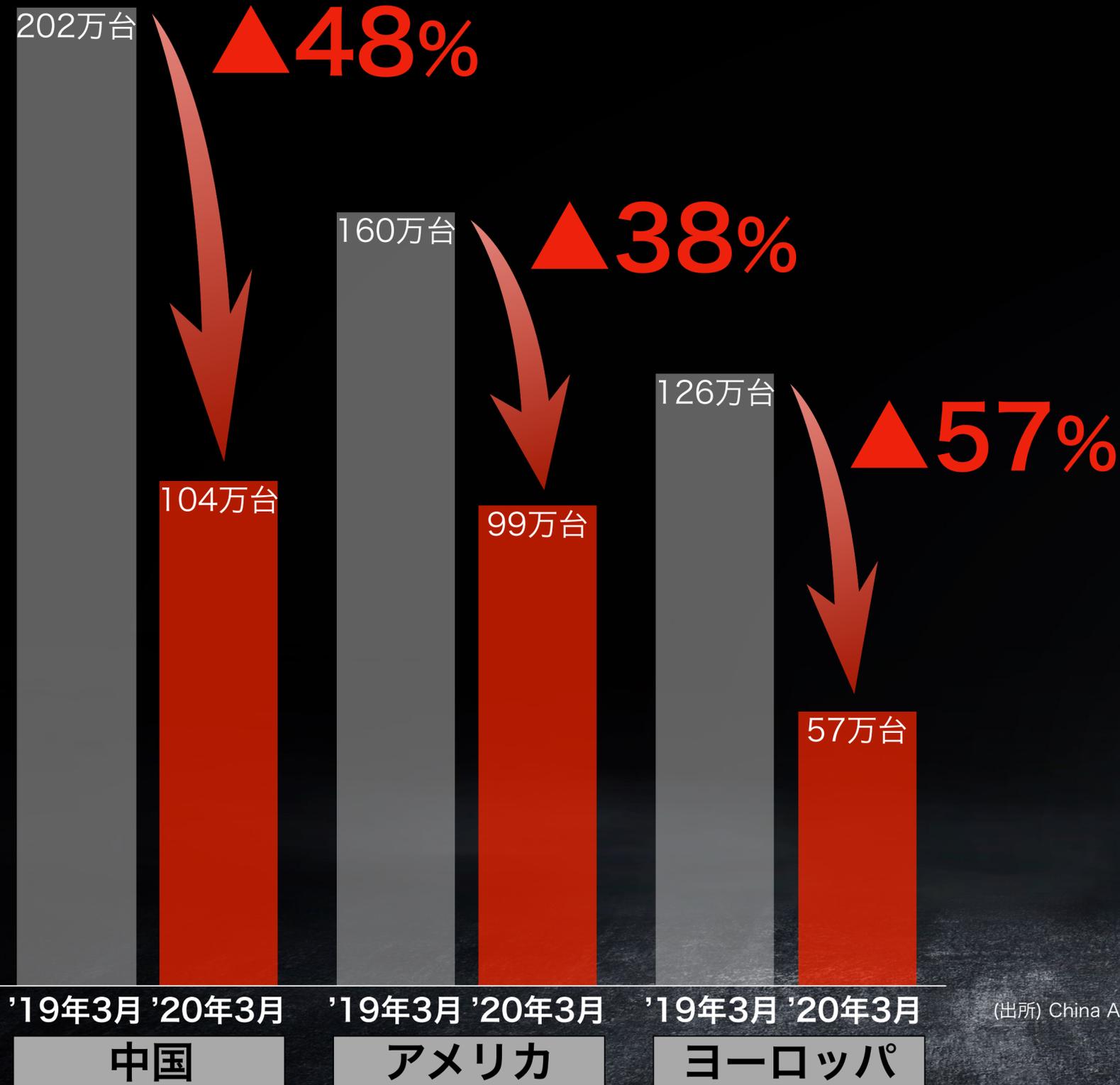
(出所) Transportation Security Administration(連邦運輸保安局)

*連邦運輸保安局による保安検査を受けた旅行者の人数。前年の同じ曜日と比較。 7

自動車産業への影響

(3月・乗用車 新車販売台数*)

大幅減



(出所) China Association of Automobile Manufacturers, Bureau of Economic Analysis, European Automobile Manufacturers Association

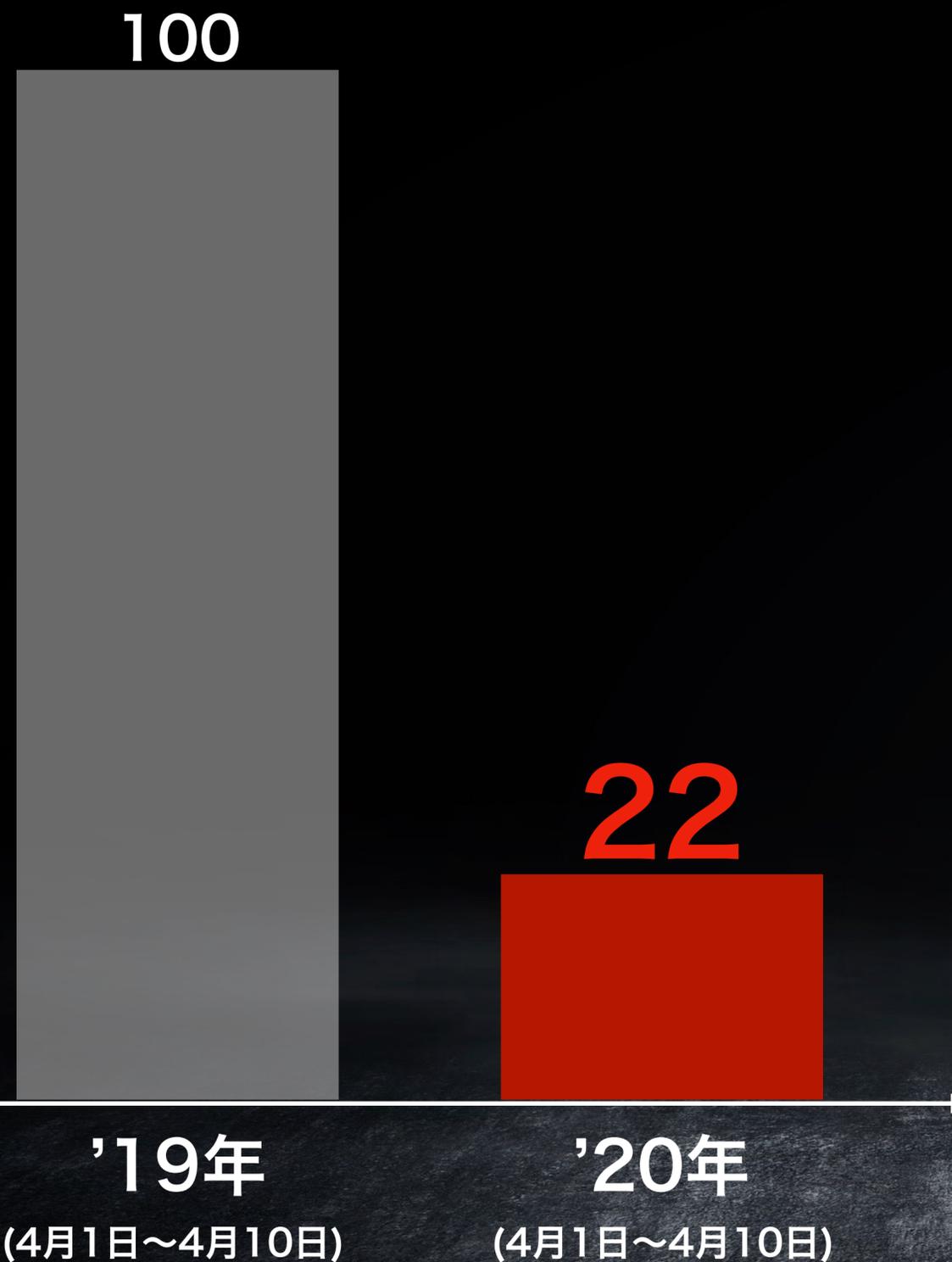
*中国: 乗用車(Passenger Cars)の販売台数

アメリカ: 軽量車両(Light Weight Vehicle)の販売台数(季節調整前)

ヨーロッパ: 乗用車の新規登録数(New passenger car registrations)・EUとUKの合計

レストランへの影響

(売上高・2019年4月1日～4月10日を100として算出)



80%減

(前年比)



(出所) National Restaurant Association (全米レストラン協会)
全米6,500以上のレストラン事業者へのサーベイ結果

労働への影響 (世界)

27億人に影響

全労働人口の
81%*



(出所) International Labour Organization

*4月7日時点 世界の労働人口33億人のうち、COVID-19を理由とする職場の全面的・部分的な閉鎖の影響を受けた労働者の割合 10

未曾有の危機

連結業績

連結業績

(億円)

2018年度

2019年度

増減額

増減率

売上高

60,935

61,851

+916

+1.5%

営業利益

20,736

-13,646

-34,382

-

当期純利益

14,112

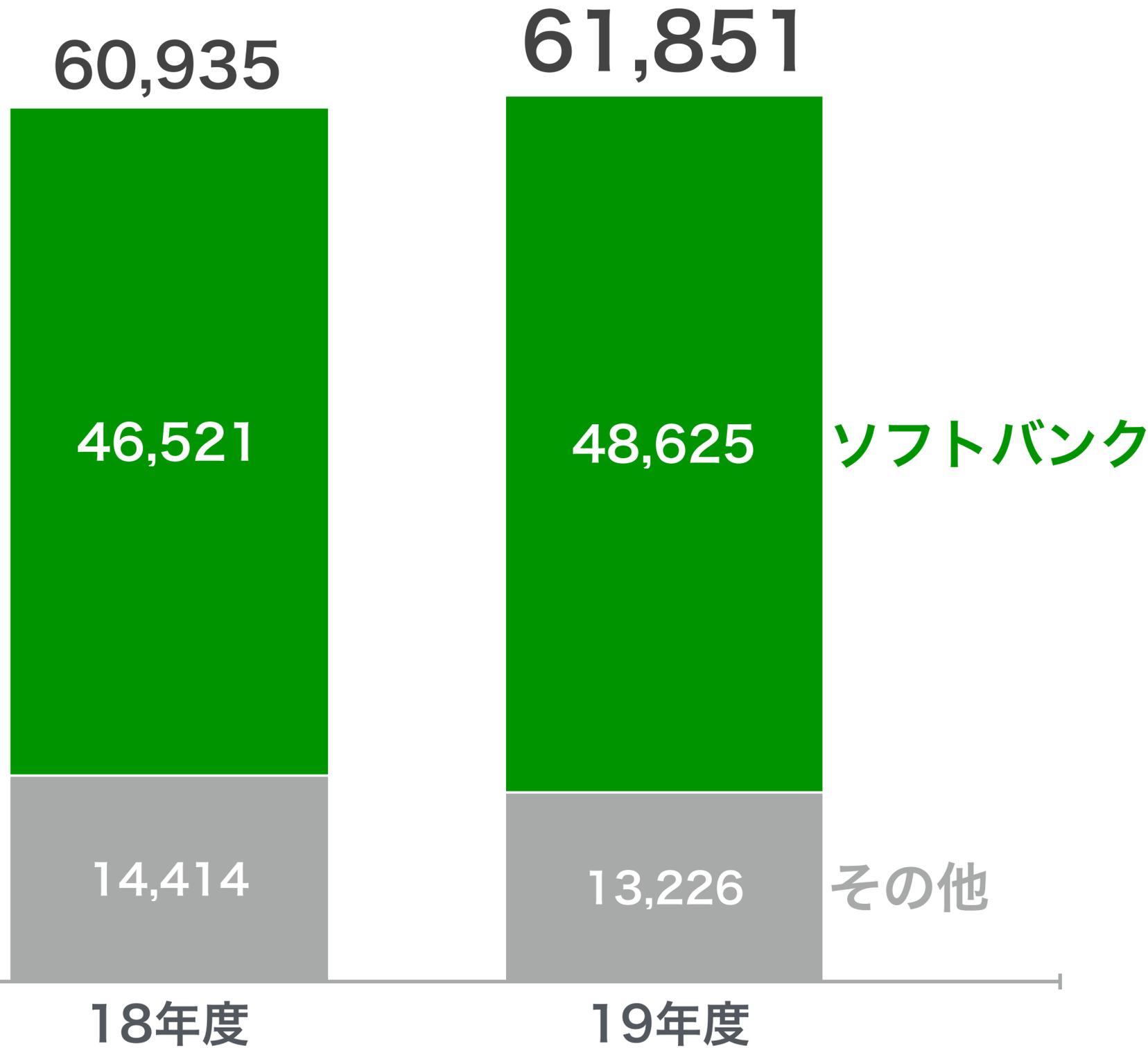
-9,616

-23,728

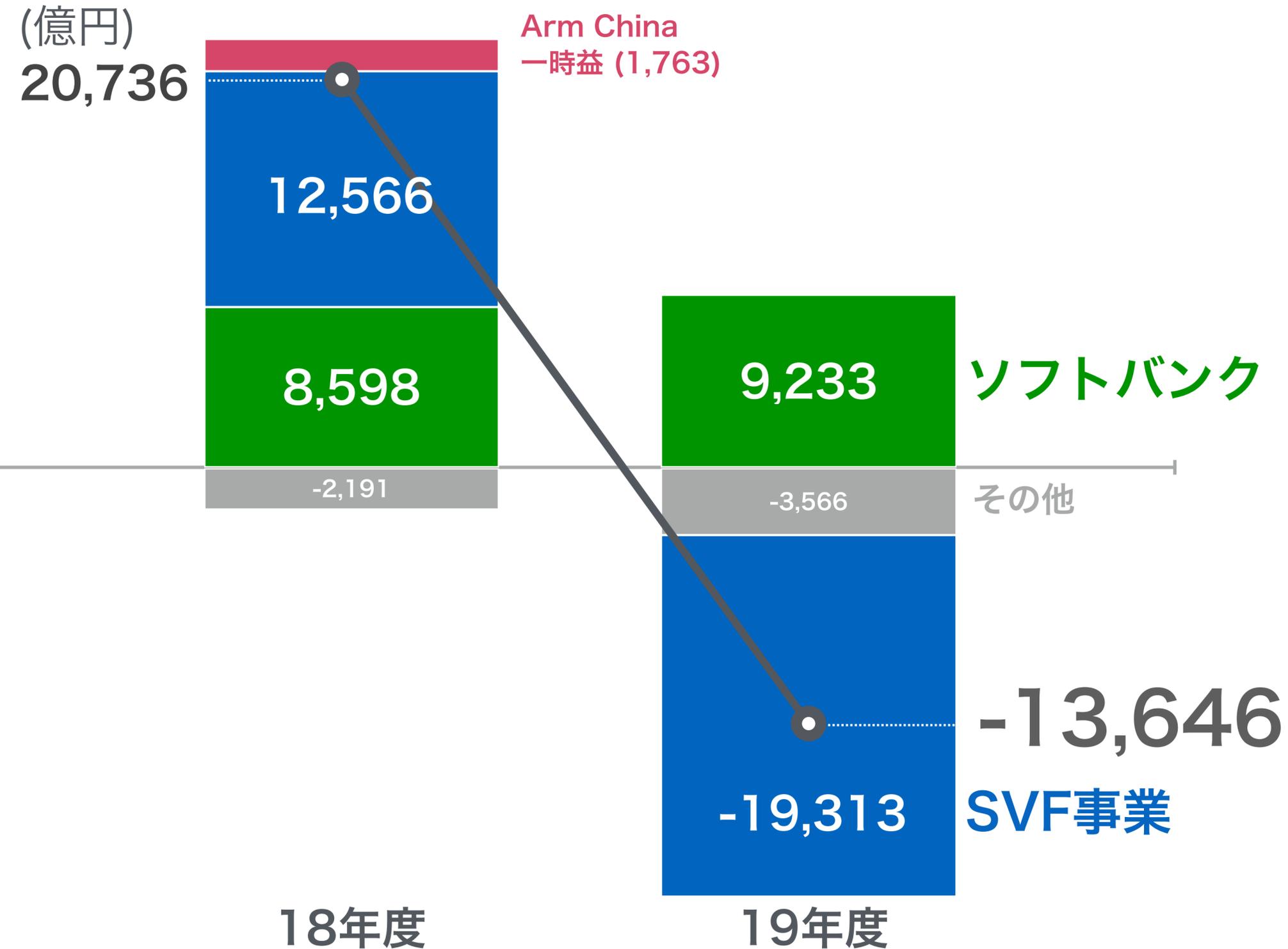
-

売上高

(億円)



営業利益



Arm China 一時益：2018年6月26日にArmはArm China の持分の 51%を複数の機関投資家等へ売却。この結果、Arm China は当社の子会社に該当しないこととなったため、当社は子会社の支配喪失に伴う利益を計上。
その他 = Arm + ブライトスター + 「その他」 + 調整額
SVF事業：ソフトバンク・ビジョン・ファンド等SBIAの運営するファンド事業

当期純利益

(億円)

14,112



-9,616

19年度

18年度

SoftBank Vision Fund

SoftBank Vision Fund 1

88社



SVF1 累計投資成果 (SBG連結目線)

(SVF1開始から2020年3月末まで)

1.4兆円

(\$13.4bn)

実現益

0.5兆円

(\$4.9bn)

評価益

0.9兆円

(\$8.5bn)

価値増

(26社)

SVF1開始以降の累計投資利益、売却済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む、税金・諸費用等考慮前

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

社数にはヘッジ取引等の金融取引の件数を含む。(例：NVIDIAとNVIDIAのヘッジ取引は1社としてカウント)

SVF1 累計投資成果 (SBG連結目線)

(SVF1開始から2020年3月末まで)

1.4兆円

(\$13.4bn)



価値増
(26社)

▲1.5兆円

(-\$14.2bn)



評価減

▲1.5兆円

(-\$14.0bn)

価値減
(47社)

実現損失
▲0.02兆円
(-\$0.2bn)

SVF1開始以降の累計投資利益、売却済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む、税金・諸費用等考慮前

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

社数にはヘッジ取引等の金融取引の件数を含む。(例：NVIDIAとNVIDIAのヘッジ取引は1社としてカウント)

SVF1 累計投資成果 (SBG連結目線)

(SVF1開始から2020年3月末まで)

1.4兆円

(\$13.4bn)



**価値増
(26社)**

▲1.5兆円

(-\$14.2bn)



**価値減
(47社)**

▲0.1兆円 (-\$0.8bn)

投資損失

実現損失
▲0.02兆円
(-\$0.2bn)

SVF1開始以降の累計投資利益、売却済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む、税金・諸費用等考慮前

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

社数にはヘッジ取引等の金融取引の件数を含む。(例：NVIDIAとNVIDIAのヘッジ取引は1社としてカウント)

SVF1 累計投資成果 (SBG連結目線)

(SVF1開始から2020年3月末まで)

累計投資額

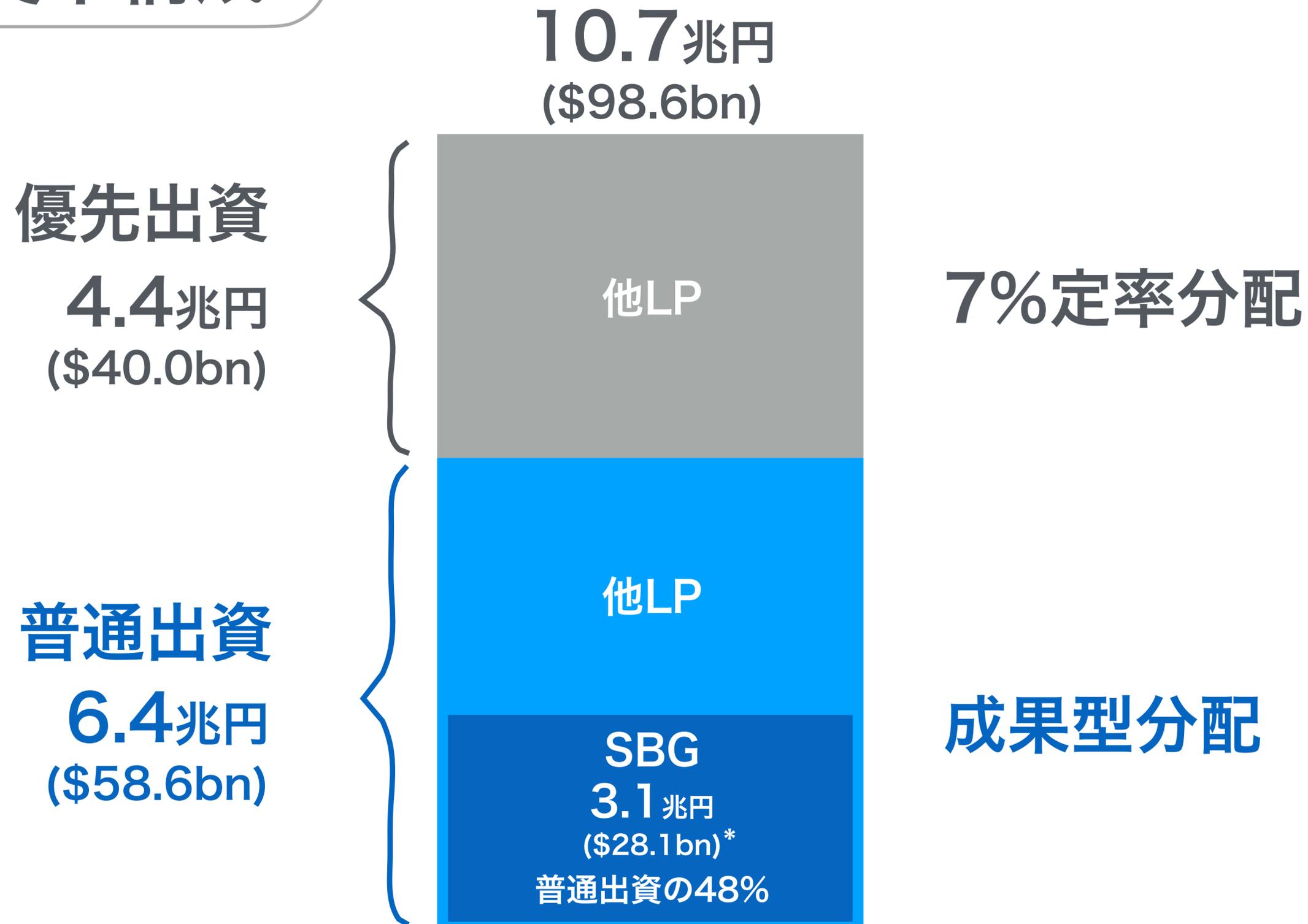
8.8兆円
(\$81.0bn)

投資損失

▲0.1兆円
(▲\$0.8bn)

SVF1開始以降の累計投資利益、売却済の投資(NVIDIA、Flipkart等)を含む、税金・諸費用等考慮前
SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む
1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

SVF1の資本構成



*SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される予定の\$5bnを除く
1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

SoftBank Vision Fund 1 (2020年3月末) (ファンド全体)

普通出資IRR

-7%

優先出資IRR

7%

ブレンドIRR

-1%

<公正価値の評価プロセス>

SBIA は四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠した公正価値を決定する必要があります。SBIA のポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会は SBIA の CEO、CFO、CRO、法務責任者、副CFOと上級投資専門家で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果は最終承認のためSBIA UK Boardに提出されます。

<公正価値の評価方法>

SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号(公正価値測定)が公正価値の測定について一般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SVF1は関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法としても知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。更に、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定報酬(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2020年3月31日時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。優先出資IRR(LP Net Preferred Equity IRR)とは、諸経費が支払われた後の優先出資持分に係る内部収益率を指します。2020年3月31日時点での優先出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額、SVF1の純資産価値及び引当済かつ未払いの優先出資持分に係る定率の固定報酬(Preferred Equity Coupon)を元に算出されています。ブレンドIRR(LP Net Blended IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定報酬(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分及び優先出資持分を組み合わせた正味の内部収益率を指します。2020年3月31日時点でのリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。なお、これは、Preferred Equity Coupon(分配済み・未払い含む)を反映したものです。“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッド・パートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SoftBank Vision Fund 1 (2020年3月末) (SBG (LP) + 成功報酬)

普通出資IRR -6%

<公正価値の評価プロセス>

SBIA は四半期ごとに英国の金融行為規制機構(FCA: Financial Conduct Authority)が発行したオルタナティブ投資ファンドマネージャー指針(AIFMD: Alternative Investment Fund Manager Directive)に準拠した公正価値を決定する必要があります。SBIA のポートフォリオ投資評価チームは、ポートフォリオマネジメントのチームとは機能的に独立しており、株式投資と特定の複雑な金融商品の公正価値の算出に際しては、必要に応じて、高度な知識や経験を有する外部の専門家が関与することもあります。これに並行して、SVF1の投資アドバイザーボード(IAB: Investor Advisory Board)が、独立の投資評価者として複数の外部ファームを選任し、半期ごとにSVF1で実施された投資の独立評価を行っています。SBIAのポートフォリオ投資評価チームによる評価結果は、独立の投資評価者のレポートを十分に考慮の上、SBIAの投資評価・財務リスク委員会(VFRC: Valuation and Financial Risk Committee)によるレビューを受け、承認されます。投資評価・財務リスク委員会は SBIA の CEO、CFO、CRO、法務責任者、副CFOと上級投資専門家で構成されています。投資評価・財務リスク委員会によって承認されると、投資評価の結果はSVF1の独立監査人であるデロイトにより財務諸表の一部として監査を受けます。評価結果は最終承認のためSBIA UK Boardに提出されます。

<公正価値の評価方法>

SVF1が適用する会計基準はIFRSです。中でも、IFRS13号（公正価値測定）が公正価値の測定について一般的な枠組みを提供しています。また、SVF1はIPEV(International Private Equity and Venture Capital)評価ガイドラインにも準拠しています。IFRSに従い、公正価値測定にあたっては、SVF1は関連する観察可能なインプット(株式市場価格等)を最大限活用し、観察不能なインプットの利用を最小限にしつつ、十分なデータが入手可能となる適切な評価技法を状況に応じて採用しています。活発に取引が行われている市場で公開している会社については、取引相場価格を調整することなく公正価値測定に使用します。未公開会社はマーケットアプローチとインカムアプローチが広く評価技法として使用されています。マーケットアプローチは、類似公開企業比準法や、類似業種比準法、市場価格法などのことです。インカムアプローチは、DCF法としても知られており、予想将来キャッシュフローの現在価値を計算して事業価値を算出することです。 直近の取引価格は、秩序だった取引の結果であれば、一般的には取引日の公正価値を表しています。直近取引法を適用する場合、新規外部投資参加者、投資家の専門性のレベル、取引の規模など、関連する要素を考慮に入れます。更に、投資について優先劣後などの内容を考慮しています。すなわち、優先株式は劣後株式より価値があります。

<投資成績の定義>

普通出資IRR(LP Net Equity IRR)とは、管理報酬、成功報酬、優先出資持分に係る定率の固定報酬(Preferred Equity Coupon)及びその他の諸経費が支払われた後の普通出資持分に係る内部収益率を指します。2020年3月31日時点での普通出資持分に帰属するリミテッド・パートナーからの資金拠出・分配、投資資金融資枠の実行額、投資関連の純資金調達額及びSVF1の純資産価値を元に算出されています。普通出資IRR(Net Equity IRR (SBG (LP)+成功報酬))は、マネージャーとしての成功報酬（支払済み、未払い含む）の影響を調整した、SBGの普通出資持分に係る内部収益率（計算はLP Net Equity IRRと同様）を表しています。“Equity”IRRは例示を目的としたものであり、SVF1全体の投資成績の一部しか表していません。加えて、優先出資持分に対するコミットメントは反映されておらず(これはSVF1全体の投資成績に大きな影響を与えるものであり、より低い成績となる可能性があります)、いずれのリミテッド・パートナーの投資成績を表すものではありません。個別の投資実績及び資金拠出・分配のタイミングに応じて、リミテッド・パートナー毎に投資成績は異なります。SVF1はこれまでの運営期間が限られており、それゆえ投資成績はここに示されている通りにならない可能性があり、未実現の投資が実現した場合のリターンはここに示された投資成績と大きく異なる可能性があります。SVF1の投資成績は直近でSVF1が一括でSBGから取得した投資案件の成績を含めています。したがって、ここに示された投資成績は未実現である投資先の評価に基づくものを含めており、将来の成績を表すものではありません。SBGは今後類似する資産の一括でのSVF1への引き渡しを行う義務はありません。投資期間終了以降に全額の支払いが行われた、過去に売却した投資案件に係る成功報酬は、クローバック条項の対象となります。

過去の投資成績は将来の業績を示唆するものではありません。

SVF1 上場投資 (2020年3月末時点)

(\$ mil)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
会社名	累計投資額	累計リターン ^{*1} (グロス)	累計損益 (グロス)	倍率 ^{*2}
Guardant Health	308	1,975	+\$1,667	6.4x
Slack	334	939	+\$605	2.8x
Vir Biotechnology	199	775	+\$576	3.9x
10x Genomics	31	239	+\$208	7.7x
PingAn Good Doctor	400	578	+\$178	1.4x
OneConnect	100	45	-\$55	0.5x
ZhongAn	550	237	-\$312	0.4x
Uber	7,666	6,205	-\$1,461	0.8x
(A) 上場投資 合計 (グロス)^{*3}	\$9,587	\$10,993	+\$1,406	
(B) 未上場投資+売却済投資等	\$71,439	\$69,250	-\$2,189	
(A)+(B) SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$81,026	\$80,243	-\$783	

1. 累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額（ヘッジ影響含む）。売却済の投資先の売却価額は取引手数料考慮後、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

2. 倍率：Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない。

3. 上場投資 合計：SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計
SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

保有資産の状況

時価総額

59.5兆円
(\$547bn)

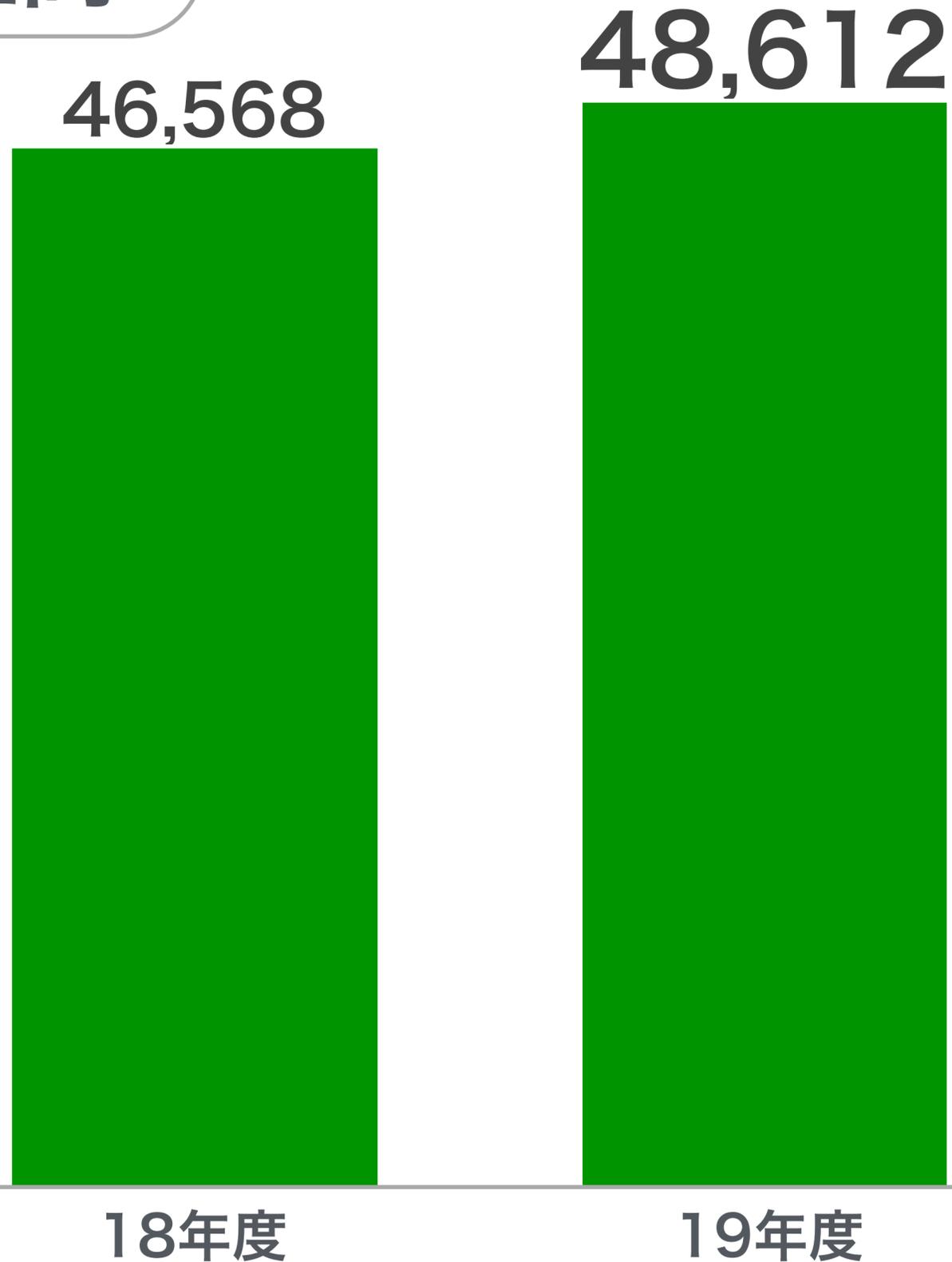


2020年5月15日終値

1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で円換算

売上高

(億円)

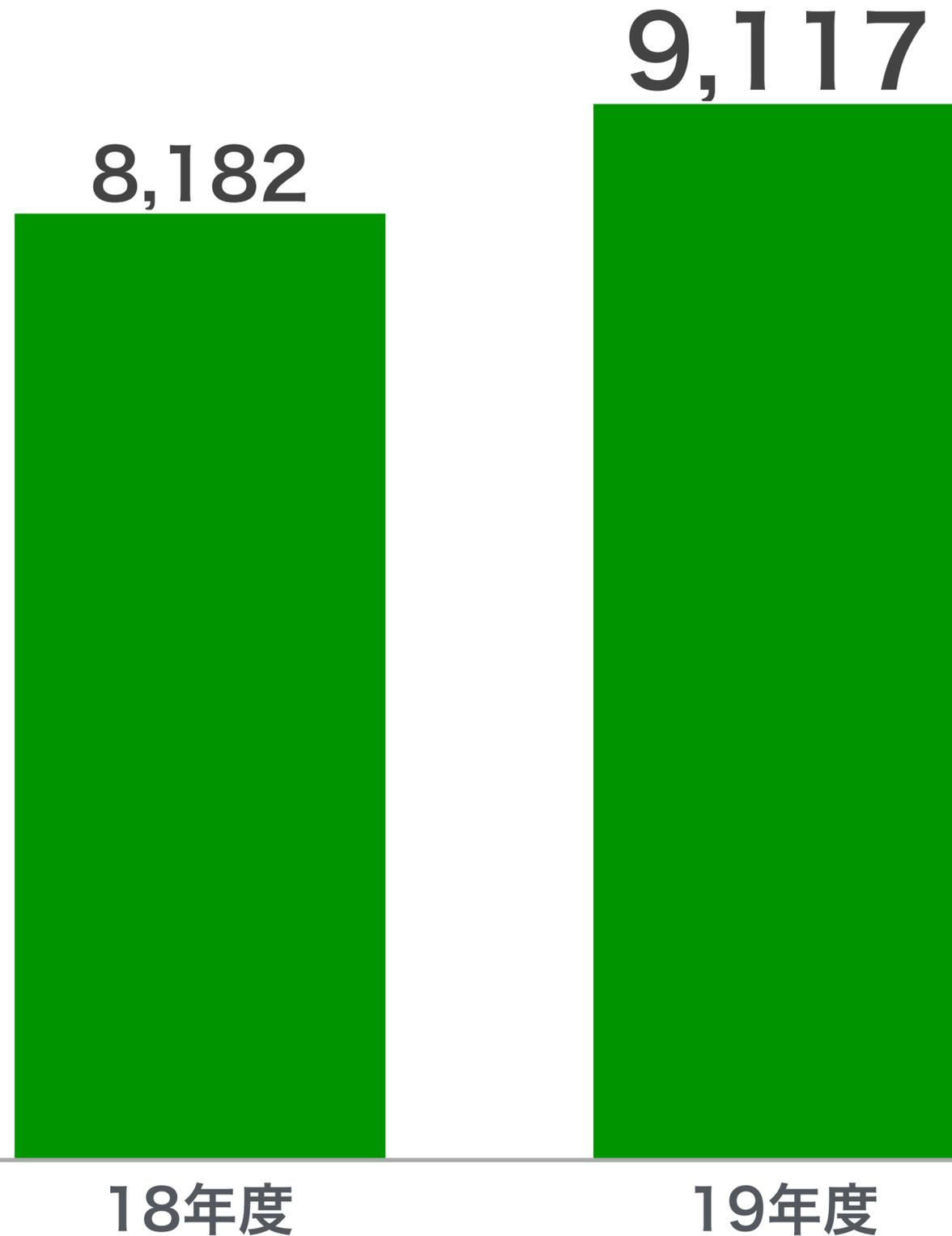


4%増

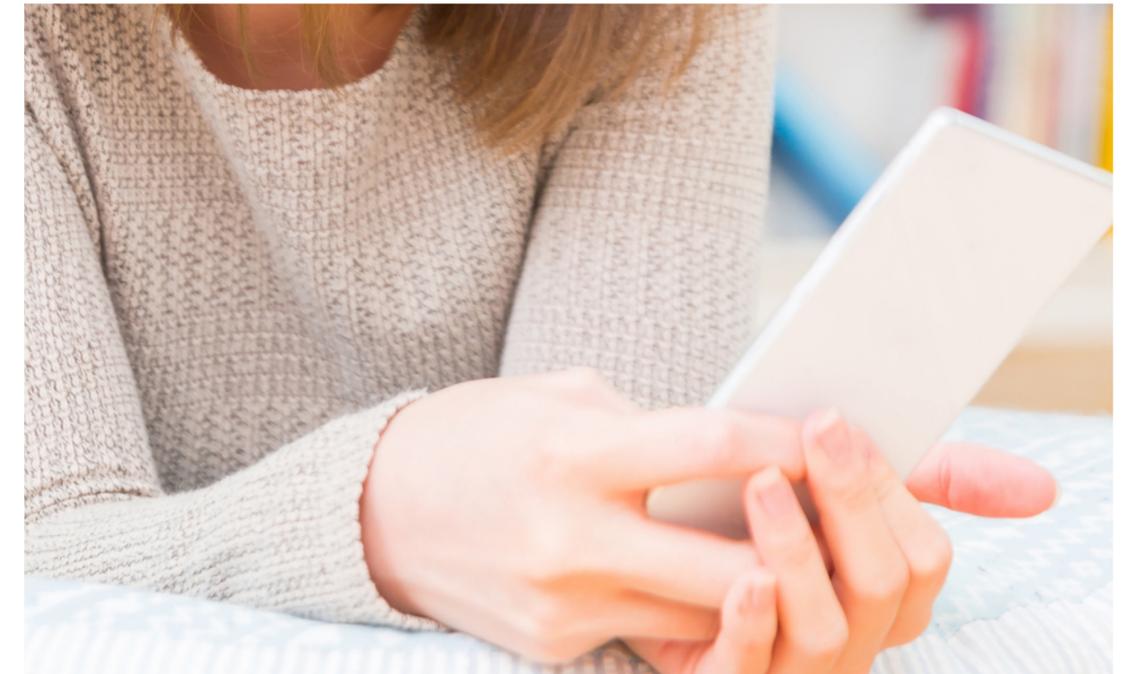


営業利益

(億円)

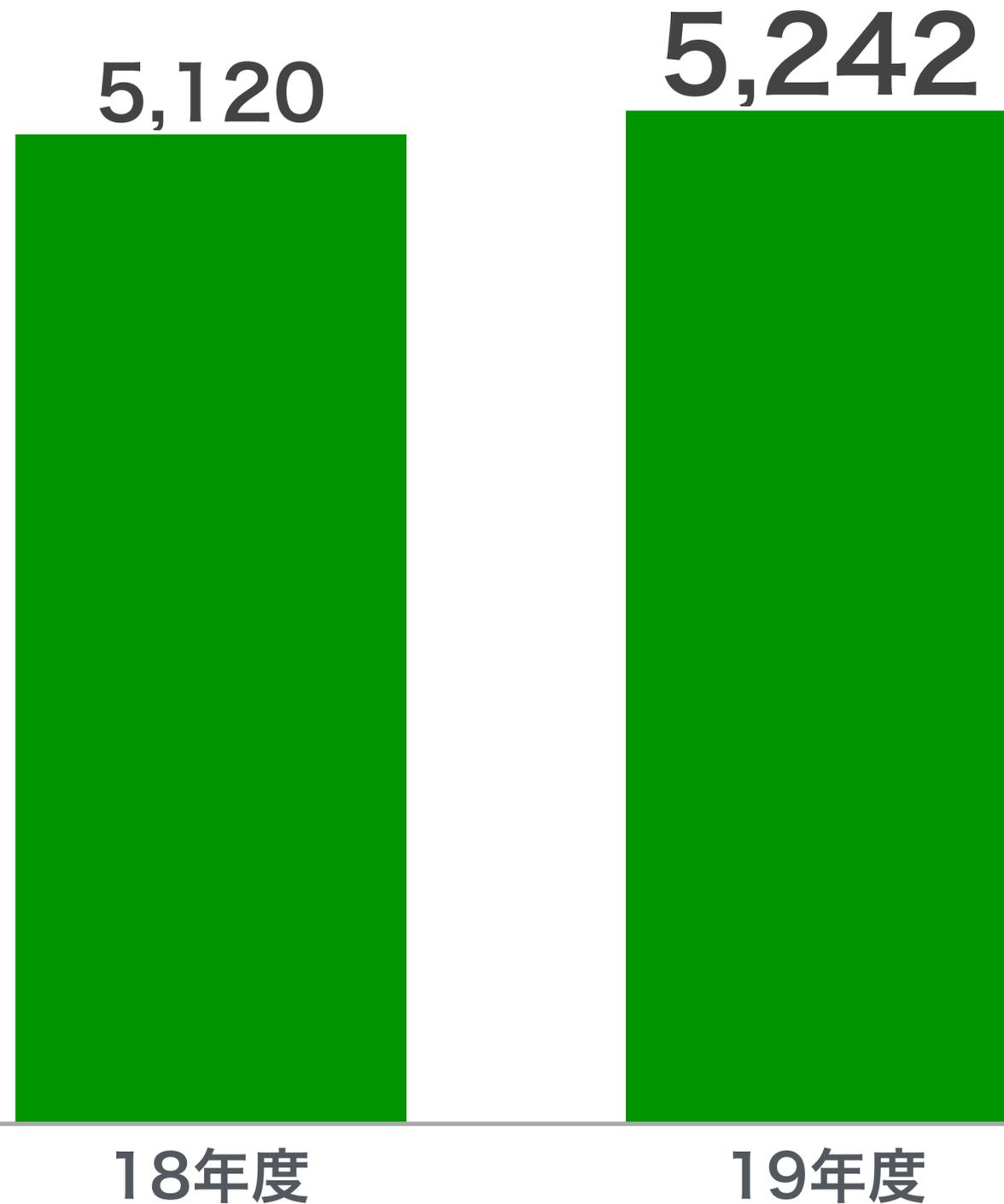


11%増

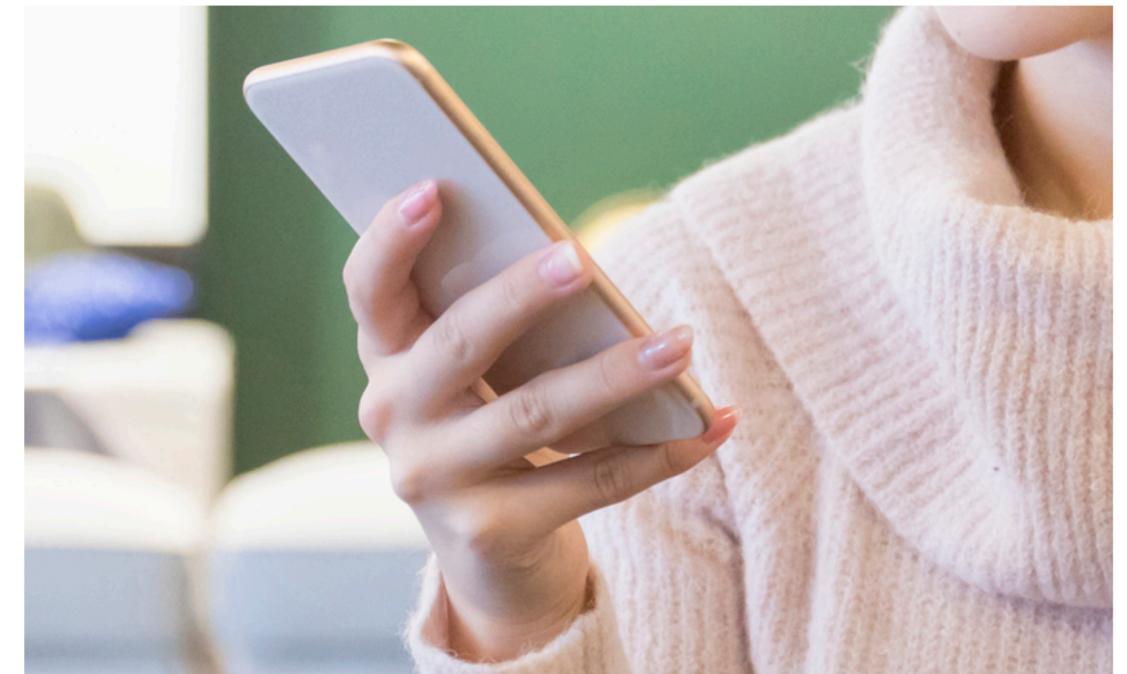


調整後フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



2%増



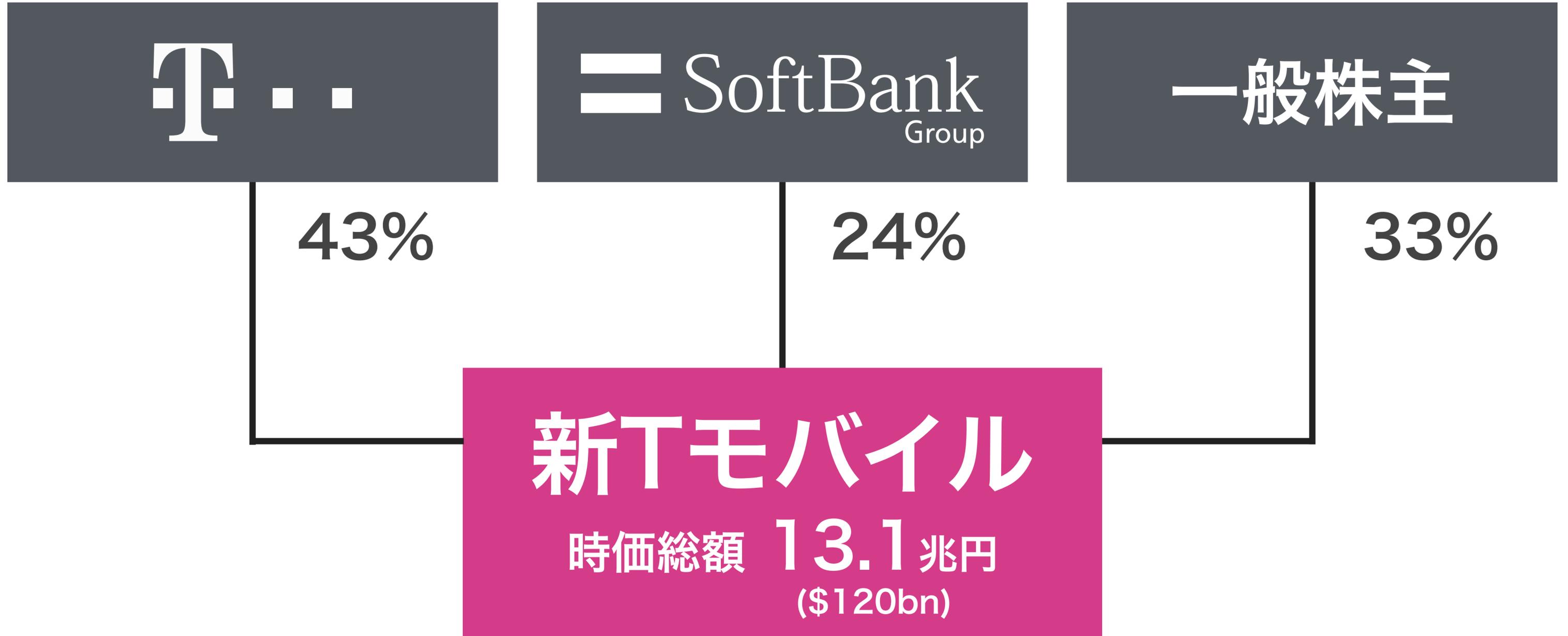
*調整後フリー・キャッシュ・フロー = フリー・キャッシュ・フロー + ソフトバンクグループ株式会社との一時的な取引 + (割賦債権の流動化による調達額 - 同返済額) Zホールディングス株式会社およびIFRS第16号影響を除く

2020年4月1日



合併が完了

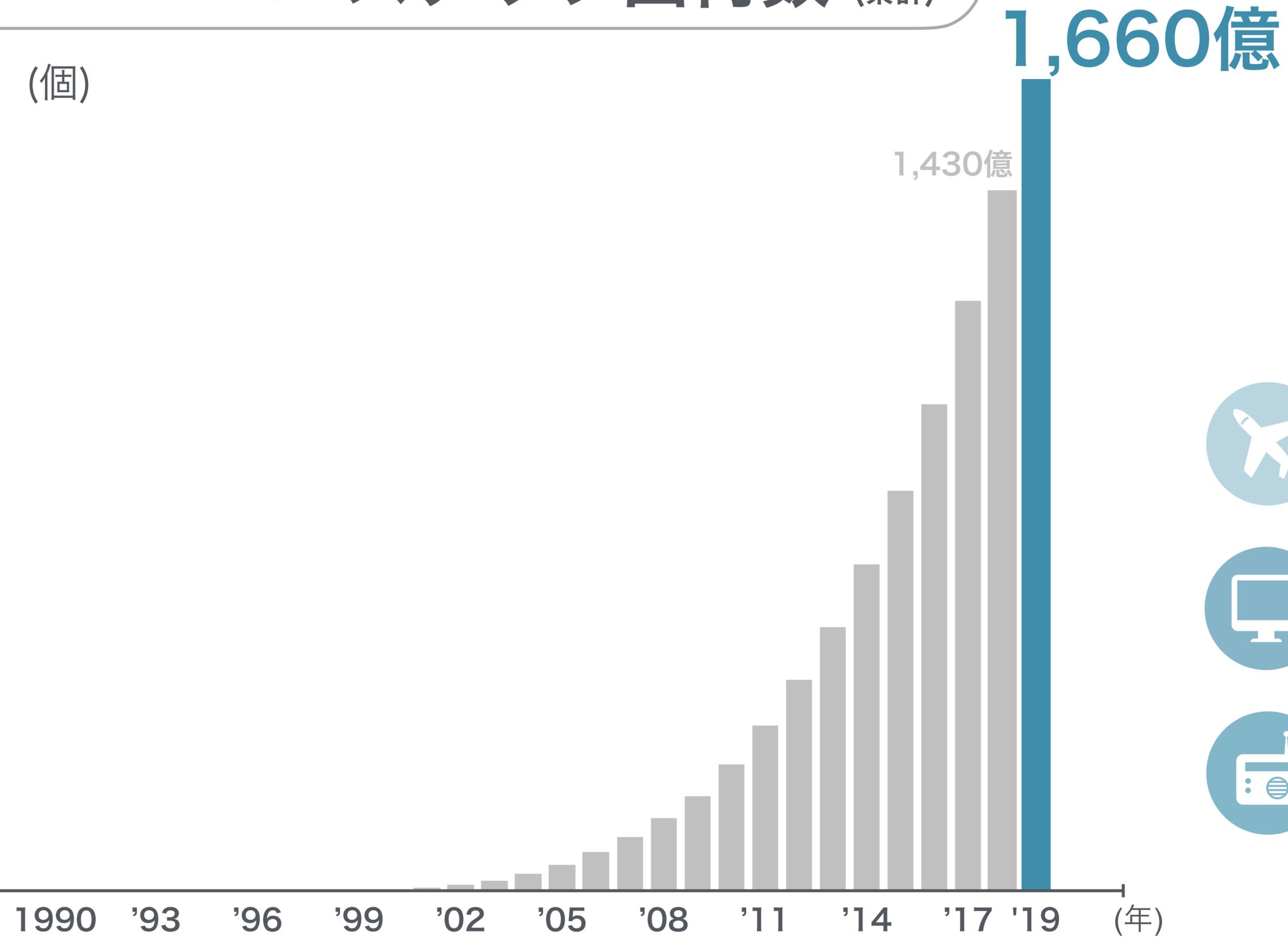
持分比率



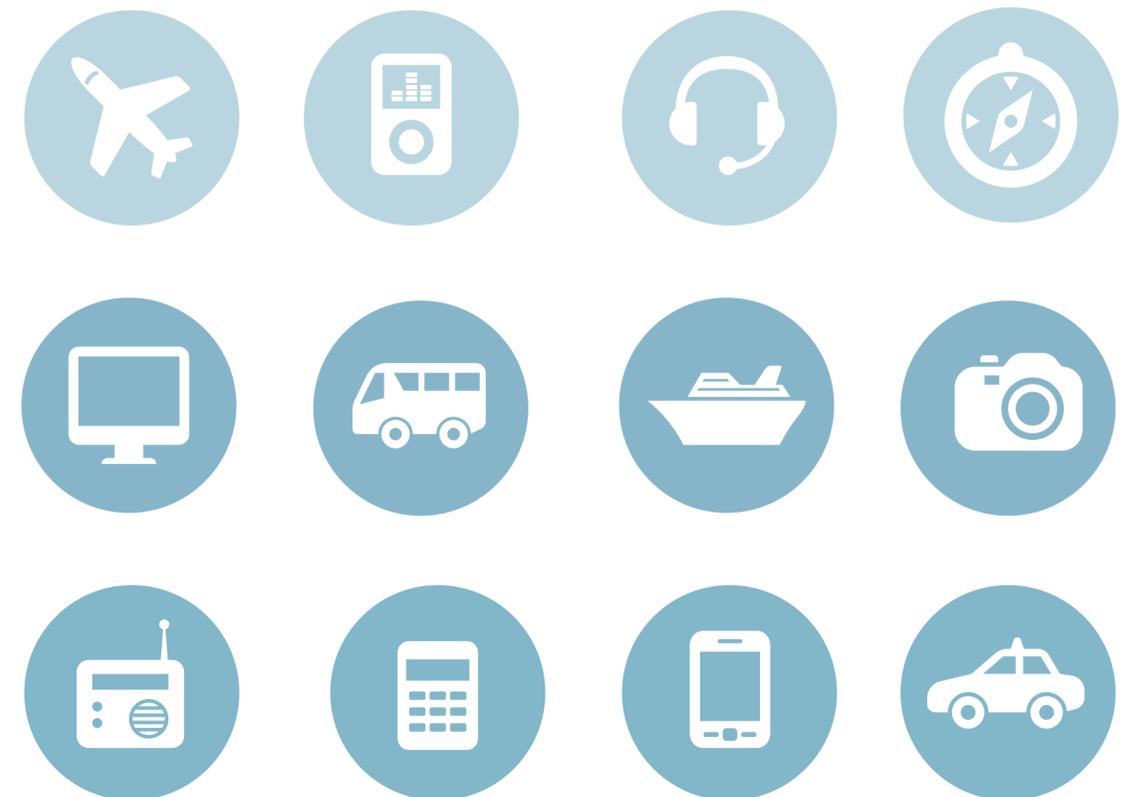
・ 割合は完全希薄化ベースの概数
・ スプリントとTモバイルの合併による取引実行後の当社からTモバイルへの引き渡し株式数考慮後
・ 時価総額：2020年5月15日終値、1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で円換算、出所: S&P Capital IQ

armベースチップ出荷数 (累計)

(個)

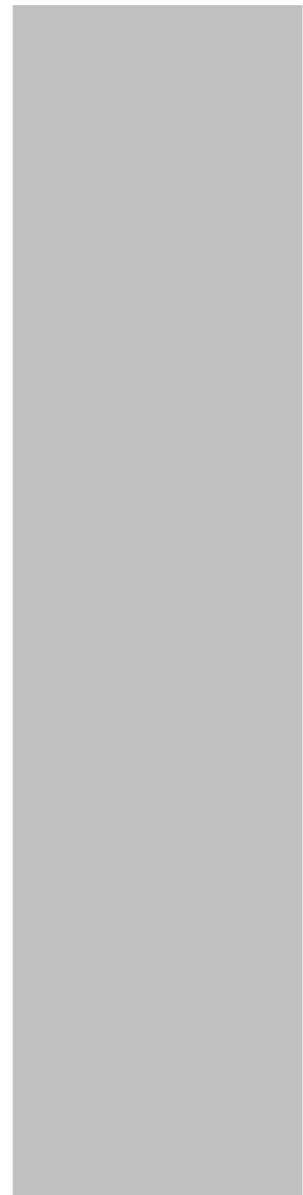


急増

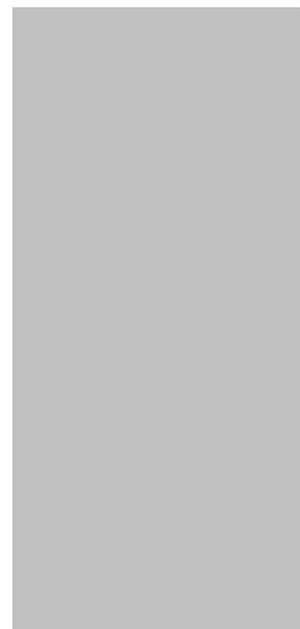


調整後EBITDA

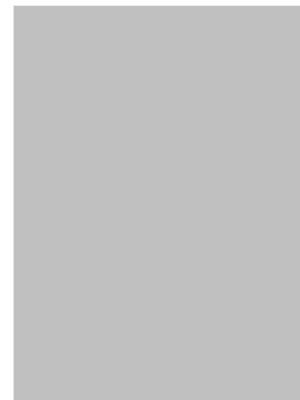
900億円
(\$827m)



2016年度



2017年度



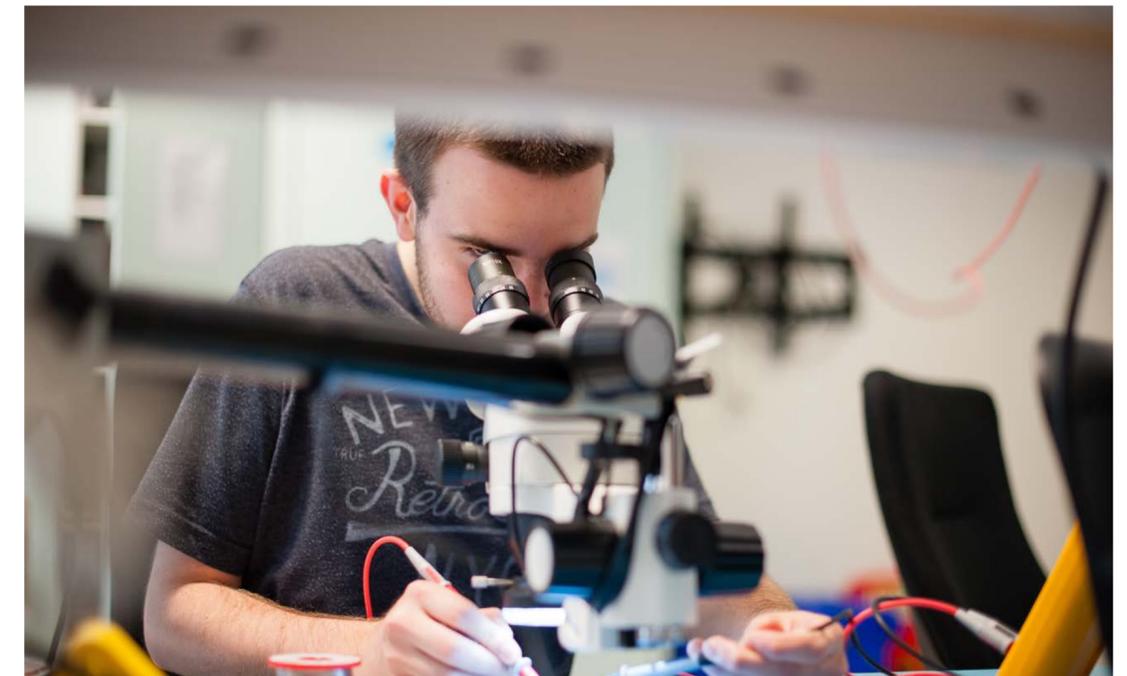
2018年度

300億円
(\$276m)



2019年度

エンジニアを採用し 先行投資

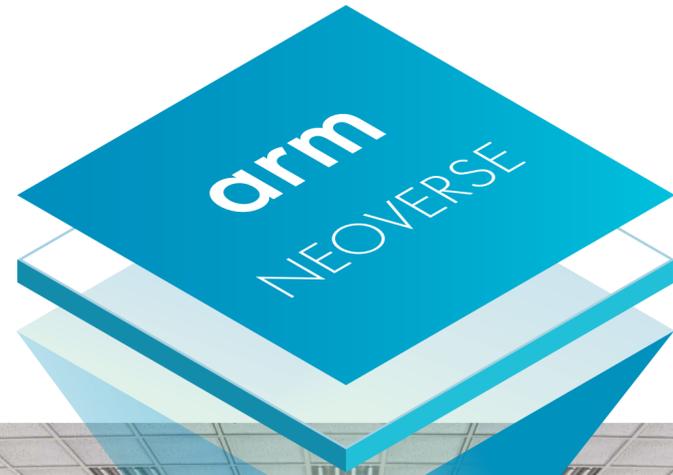


1ドル = 108.83円(2020年3月31日TTM)で円換算

調整後EBITDA：アーム事業におけるセグメントの数値ではなく、アーム単体の数値
(出所) Arm

AWS・Arm パートナーシップ

(AWS Graviton2 プロセッサ)



arm

処理速度が最大65%アップ*

最大40%のコスト削減**

(出所) Amazon.com, Inc. 2020年5月時点

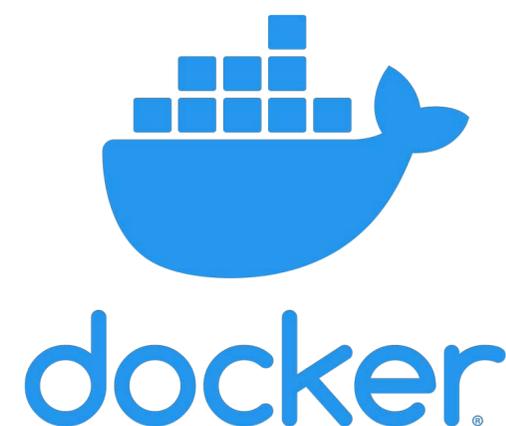
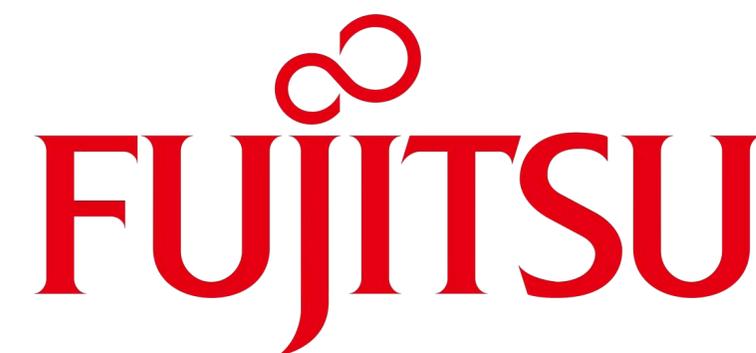
*AWS M6g (Graviton2 採用) 仮想マシンとAWS M5 (Xeon Platinum 8000 採用) 仮想マシンの特定の負荷における処理速度を比較

**AWS Intel Xeonベースの仮想マシンからAWS Graviton2ベースの仮想マシンに必要最低限の作業でアプリケーションの環境移行を行なった際のコスト比較

エコシステムが拡大

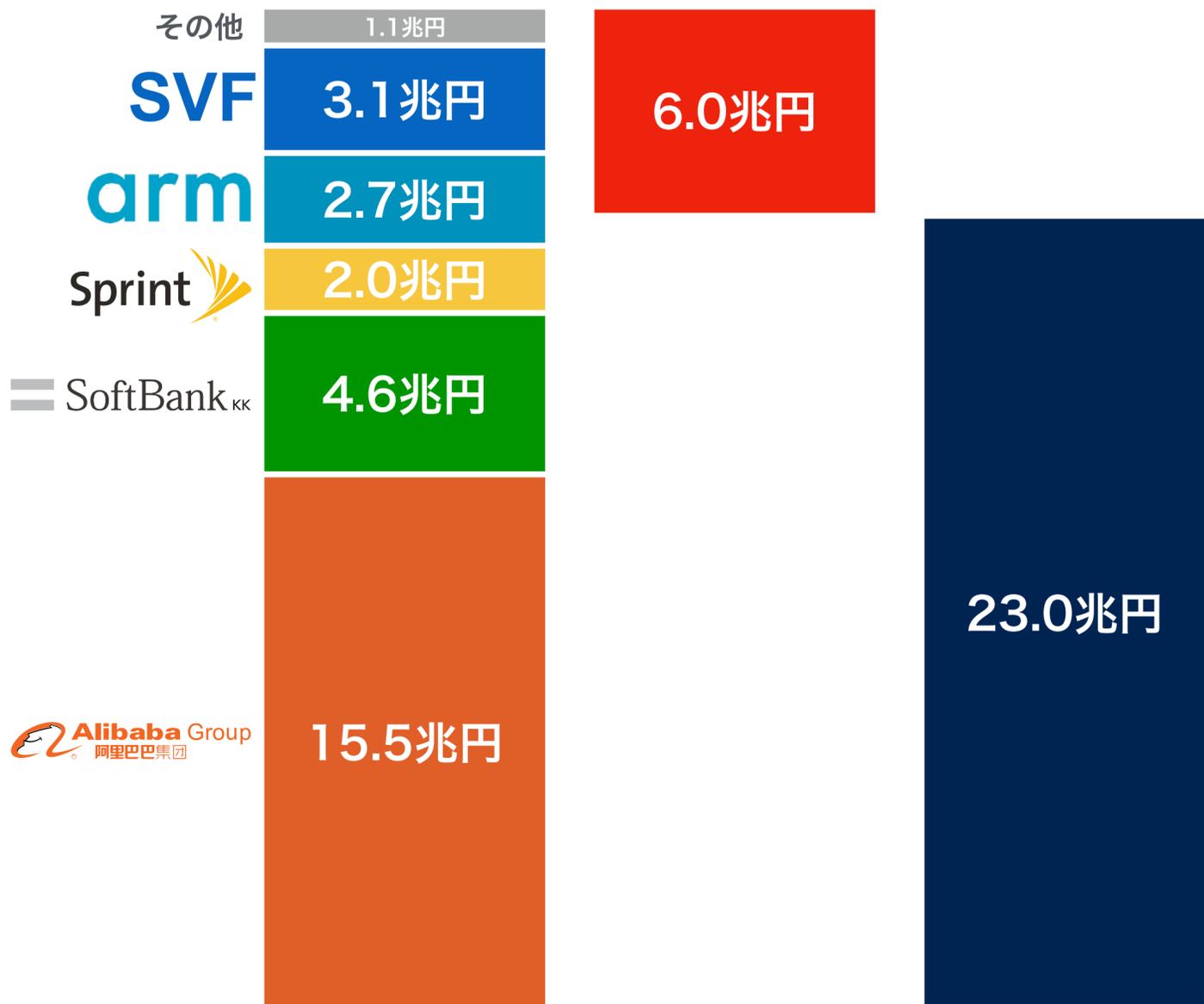
クラウド・サーバー向けプロセッサIP

NEOVERSE

The logo for VMware, consisting of the word "vmware" in a lowercase, sans-serif font with a registered trademark symbol.The logo for Amazon Web Services (AWS), featuring the word "aws" in lowercase with a curved arrow underneath.The logo for Microsoft Azure, featuring a four-colored square (orange, green, blue, yellow) and the text "Microsoft Azure".The logo for Marvell, featuring a stylized "M" and the word "MARVELL" in uppercase.The logo for NVIDIA, featuring a stylized green eye and the word "NVIDIA" in uppercase.The logo for Docker, featuring a blue whale icon and the word "docker" in lowercase.The logo for Fujitsu, featuring a red infinity symbol and the word "FUJITSU" in uppercase.

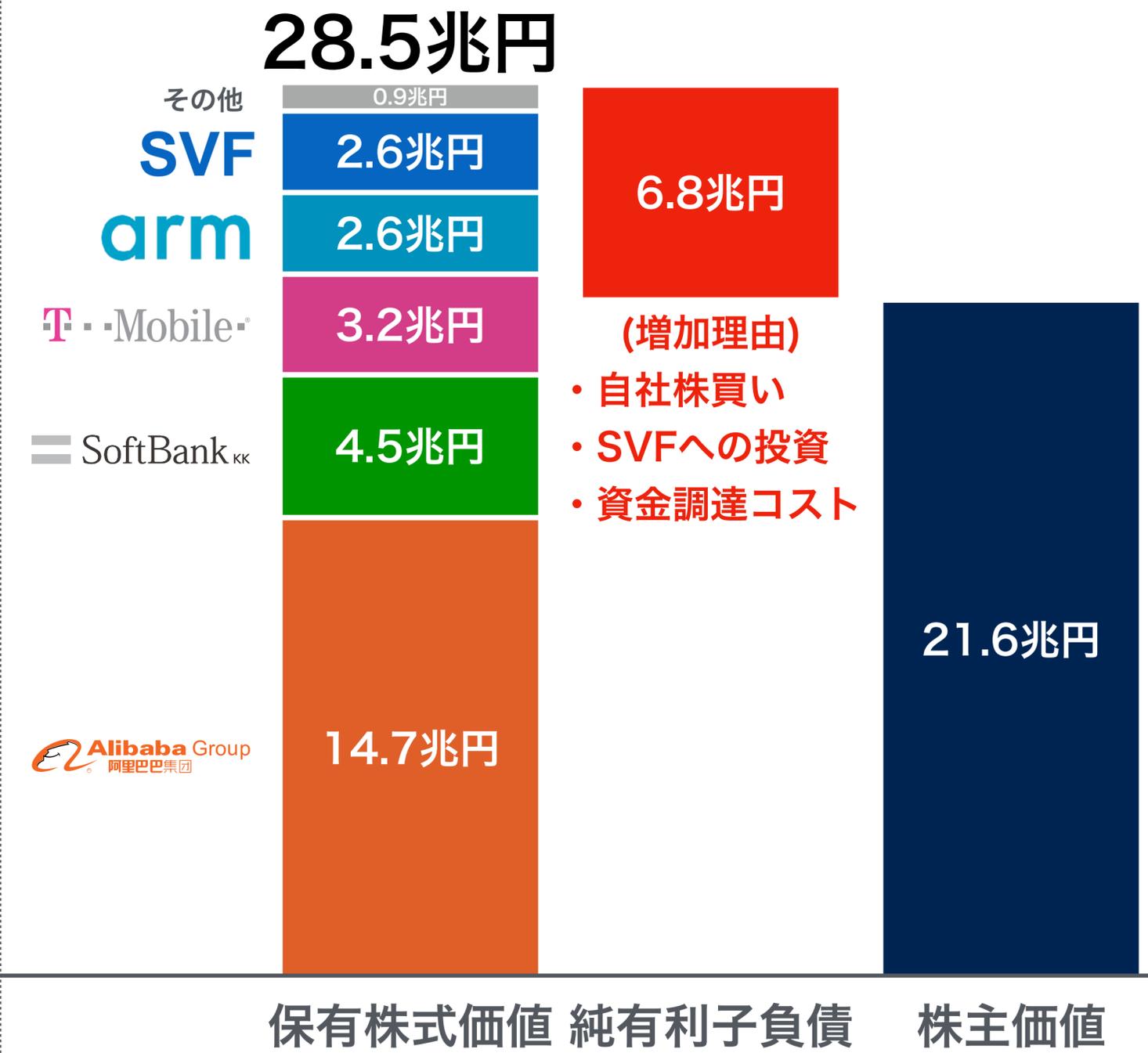
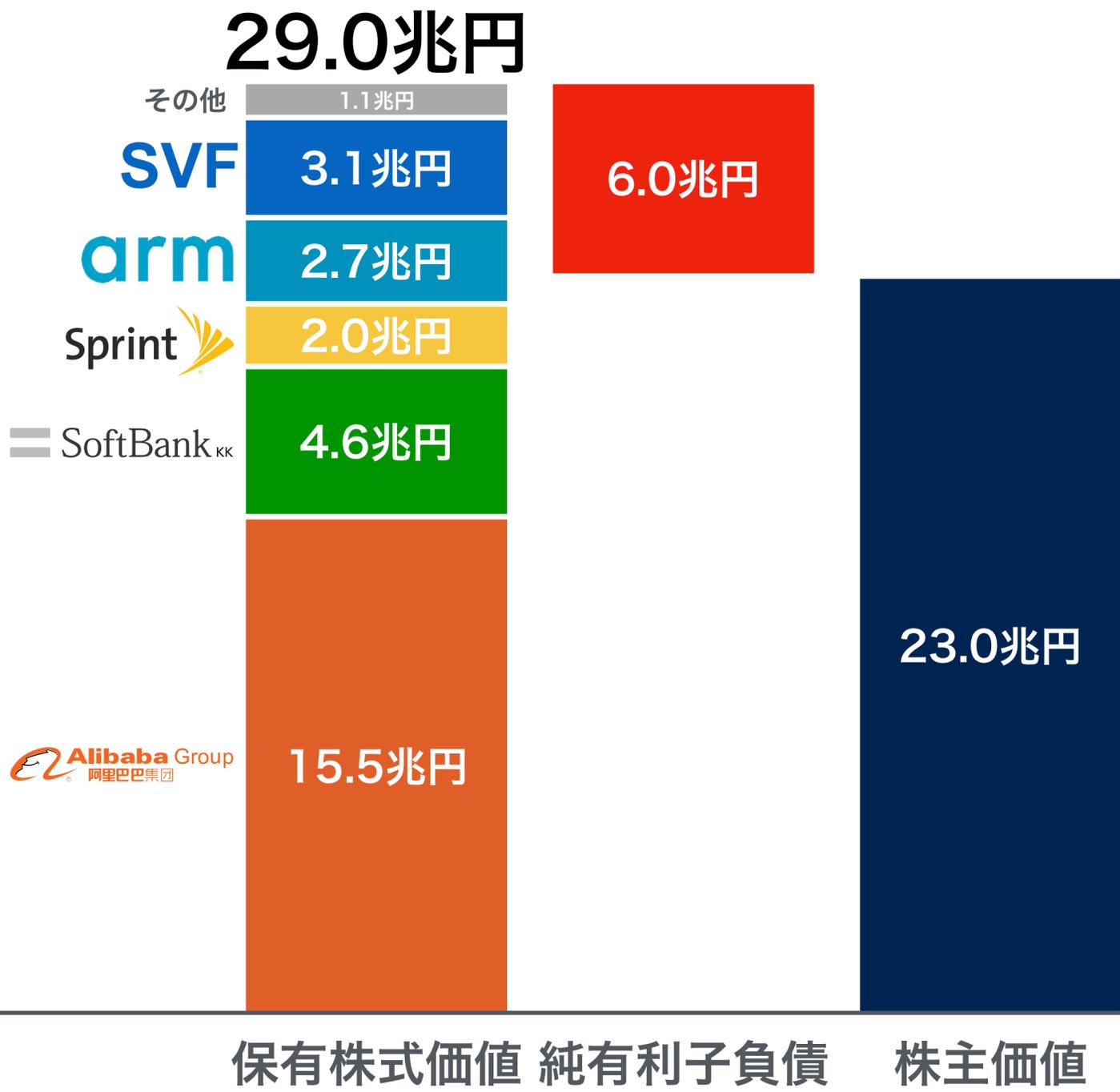
株主価値について

29.0兆円



保有株式価値 純有利子負債 株主価値

2019年12月末時点



2019年12月末時点

2020年5月18日時点

Alibaba株式を活用した調達

(2020年4月以降)

調達金額

先渡契約	1,632億円 (\$1.5bn)
フロア契約	1,632億円 (\$1.5bn)
カラー契約	9,251億円 (\$8.5bn)
合計	1.25兆円 (\$11.5bn)

純有利子負債/保有株式率 LTV

14%

純有利子負債：アリババ株式およびSBKK株式を活用したアセット・バック・ファイナンスに関連する負債等の合計額を控除

保有株式：アリババ株式およびSBKK株式を活用したアセット・バック・ファイナンスに関連する負債等の合計額を控除

詳細は「Sum of the Partsの定義および算出方法（2020年5月18日時点）」を参照

株価：5月18日終値（日本）、5月15日終値（米国）

配当方針(1株当たり)

	2019年度 (予定)	2020年度 (予定)
中間配当	22円	未定
期末配当	22円	未定
年間配当	44円	未定

2020年度は未定の方針

新型コロナウイルスの世界的拡大



抗体検査キット*



一般・サージカルマスク



ゴーグル



N95マスク



防護服



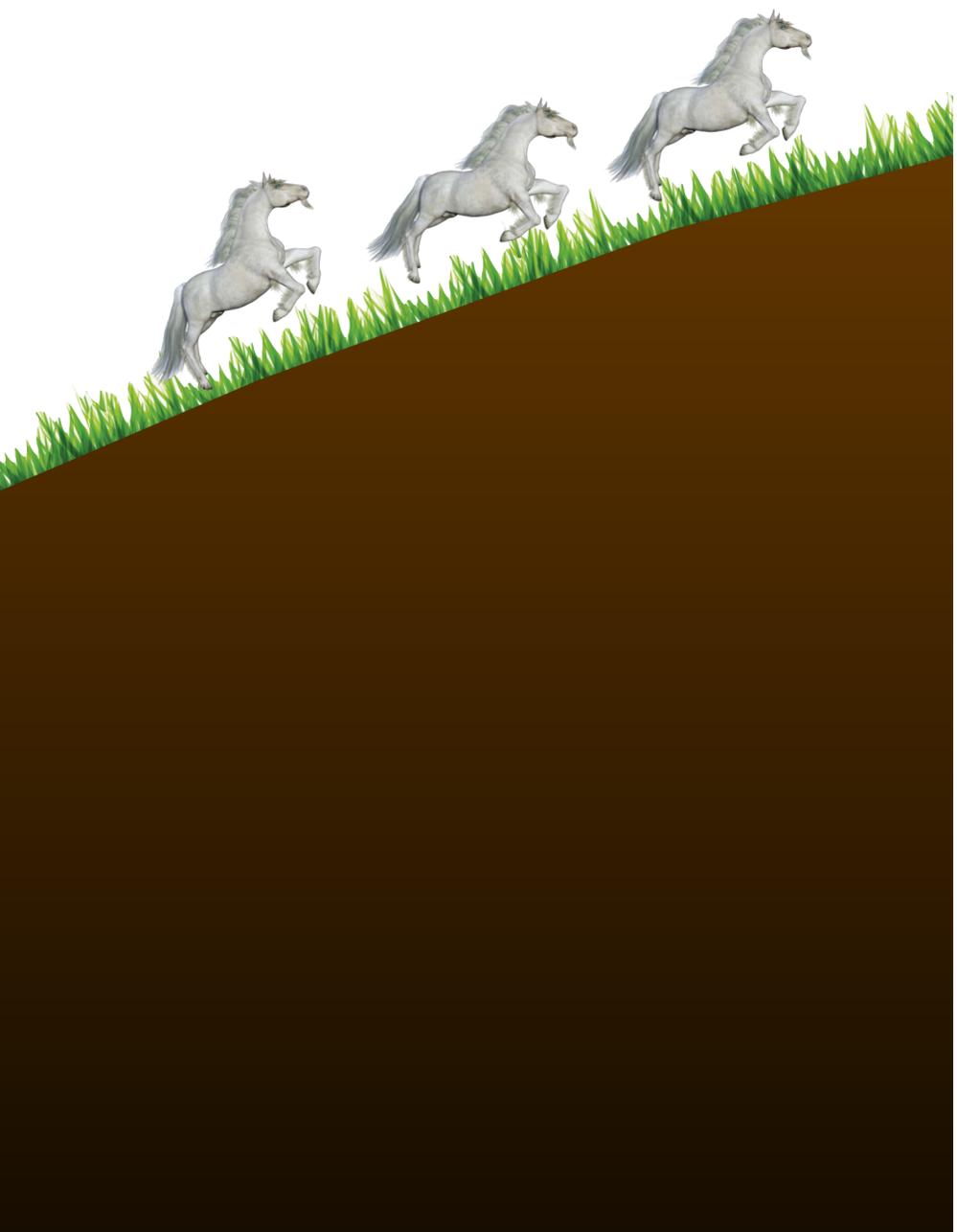
フェイスシールド

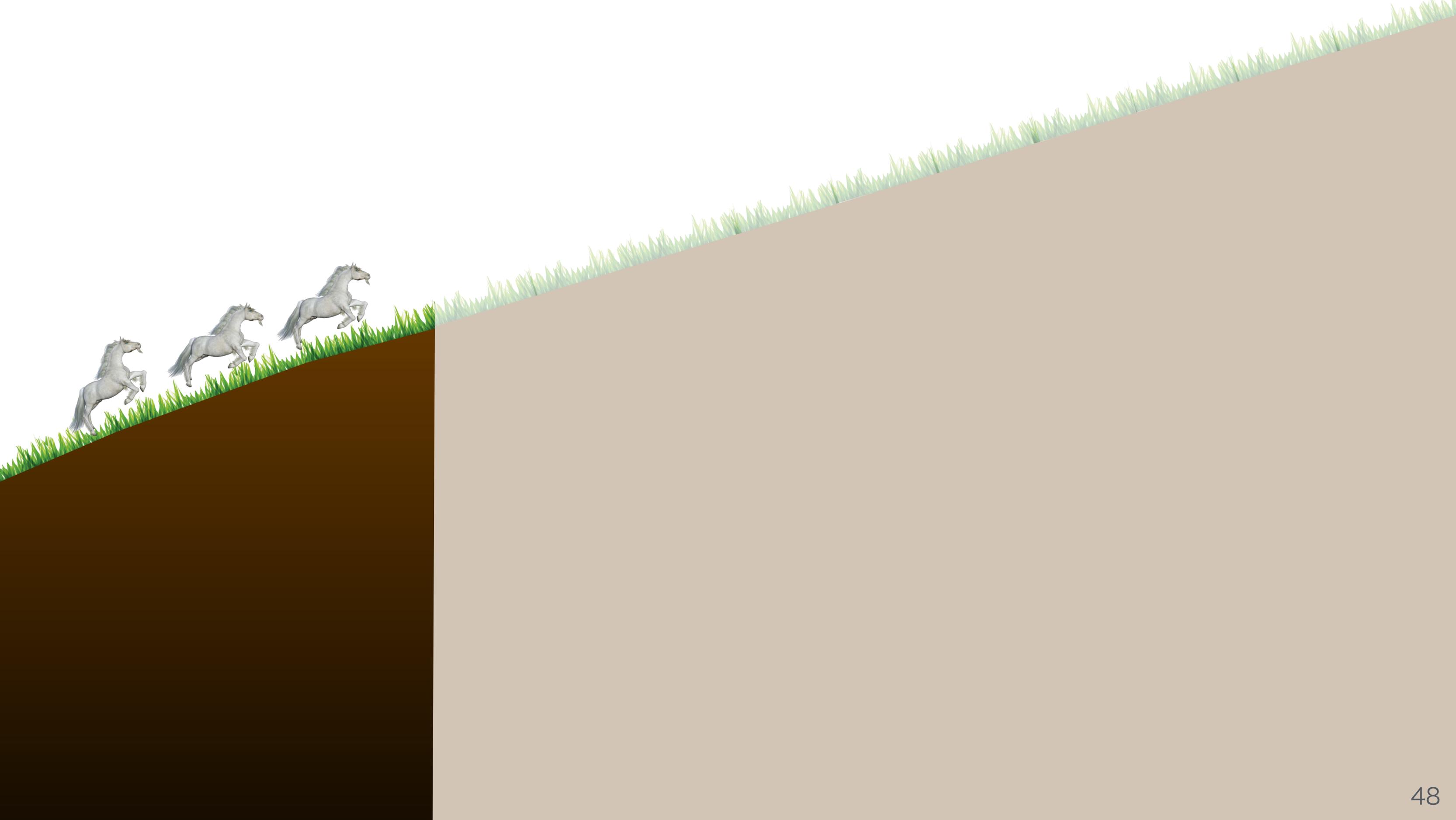
社会貢献として
医療関係者に
無利益で提供へ

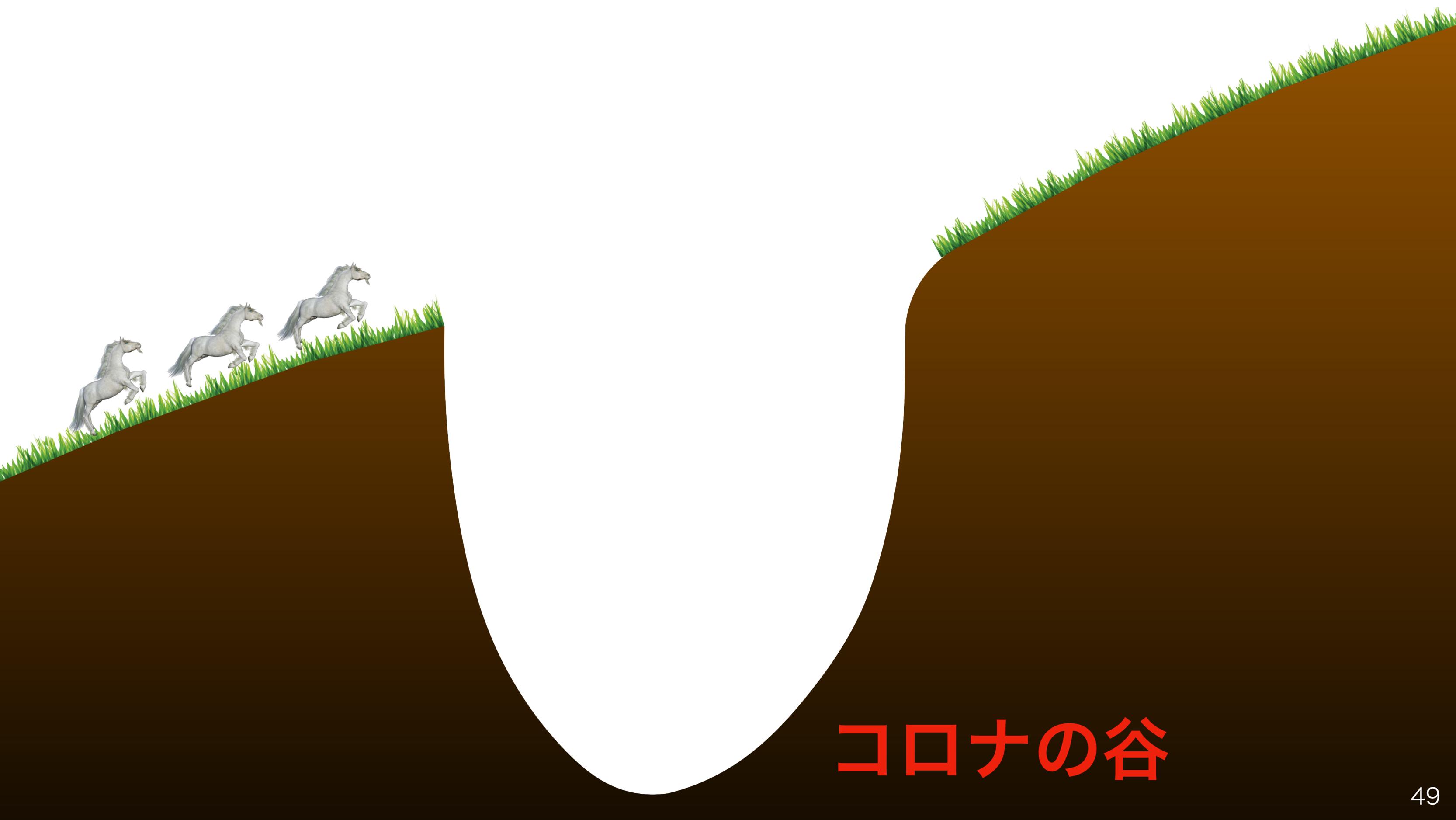
ユニコーン企業の課題 (コロナ禍)

需要(売上)
の急減

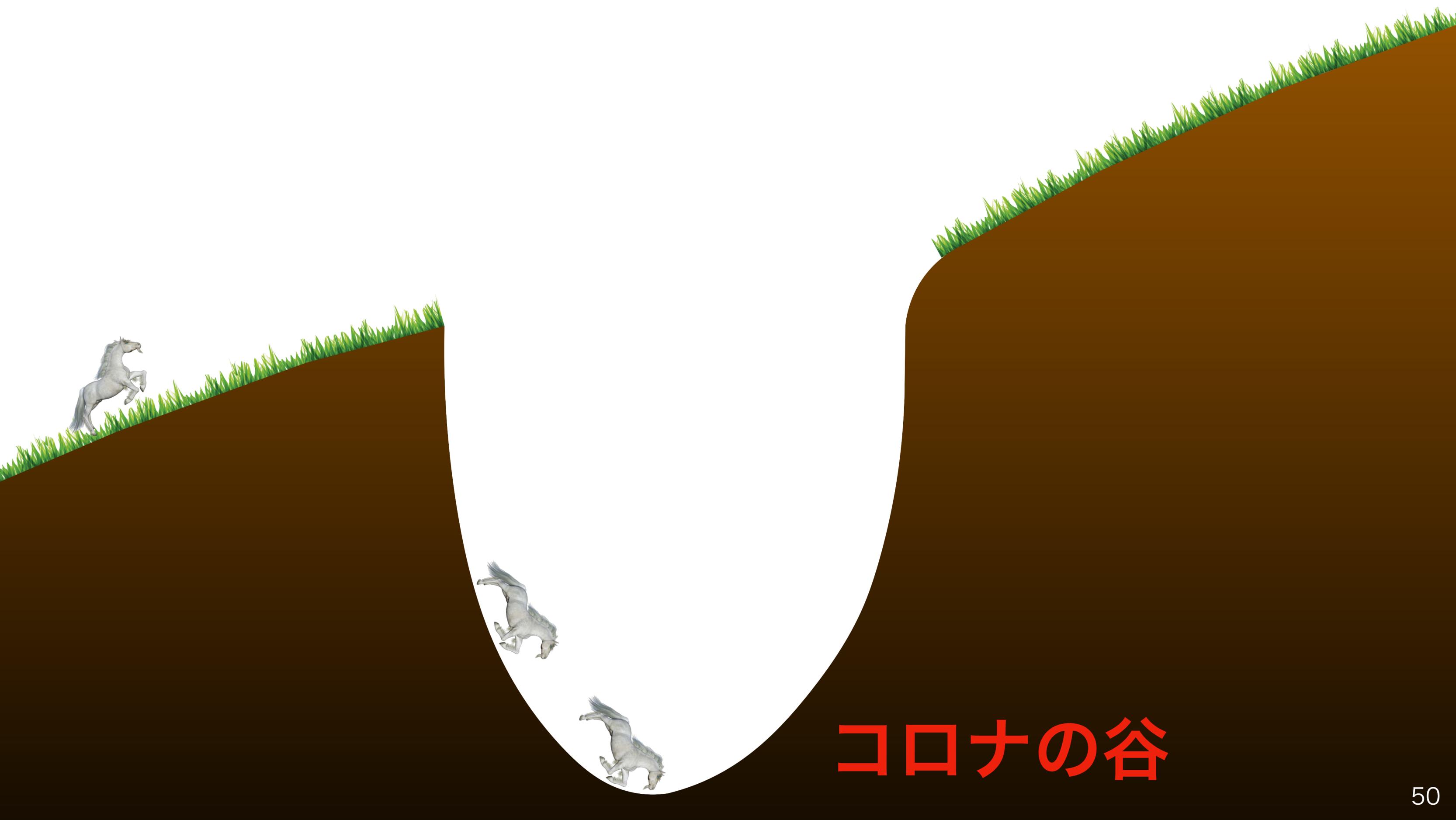
フリーCF
の赤字



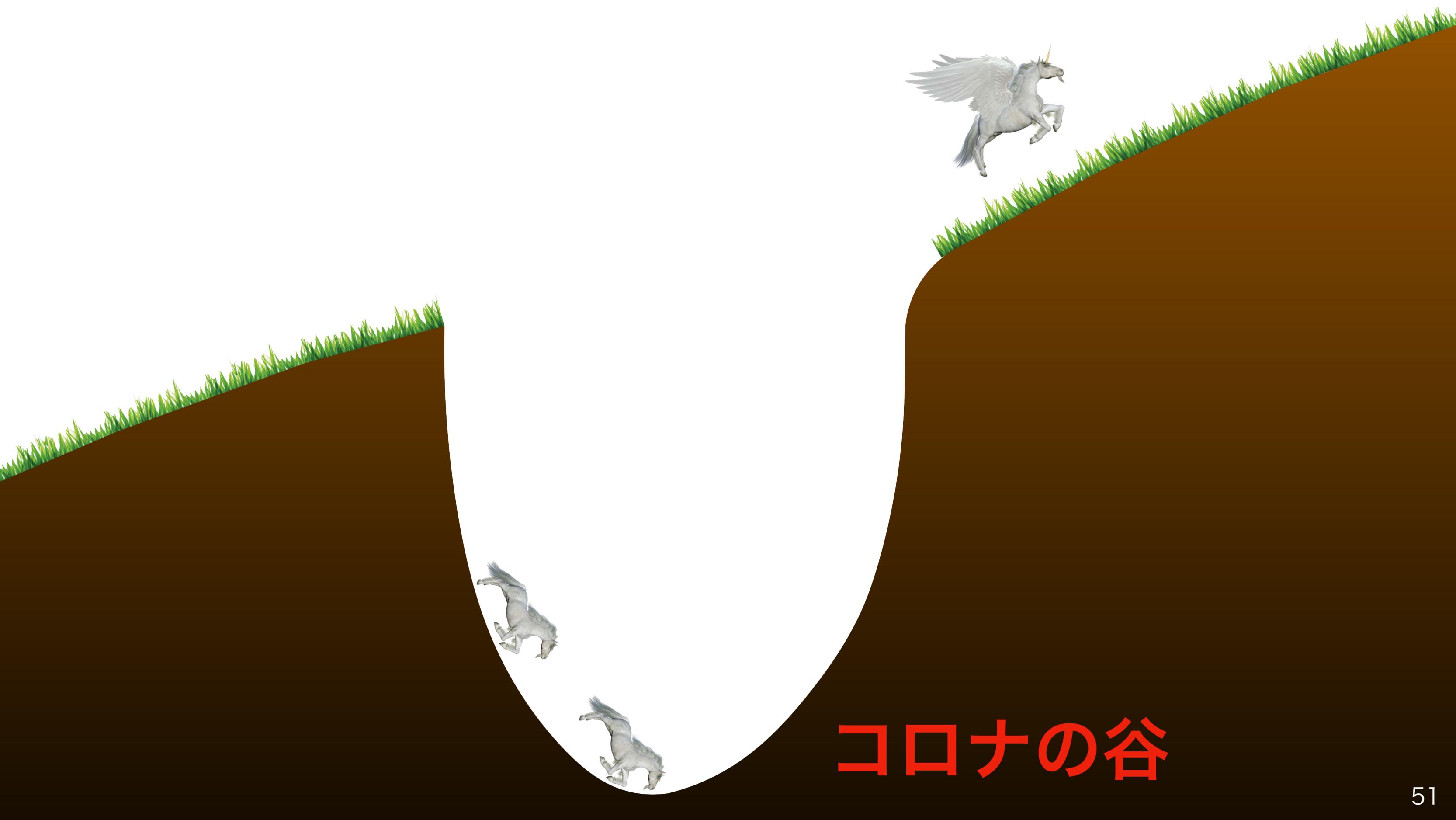




コロナの谷



コロナの谷



コロナの谷



自動車



電化製品



石油

(1929年 世界恐慌からの回復) 当時の新産業が牽引



製造



電気



食品加工



オンライン会議



フードデリバリー



オンライン教育

(新型コロナウイルスからの回復)
新たなテクノロジーが牽引



オンライン医療



オンラインショッピング



動画配信サービス



情報革命で人々を幸せに





Appendix

SVF1 上場投資 (2020年5月15日時点)

(\$ mil)	(a)	(b)	(c) = (b) - (a)	(d) = (b) / (a)
会社名	累計投資額	累計リターン ^{*1} (グロス)	累計損益 (グロス)	倍率 ^{*2}
Guardant Health	308	2,615	+\$2,307	8.5x
Slack	334	1,002	+\$668	3.0x
Vir Biotechnology	199	686	+\$488	3.5x
PingAn Good Doctor	400	820	+\$420	2.0x
10x Genomics	31	297	+\$266	9.6x
OneConnect	100	67	-\$33	0.7x
ZhongAn	550	275	-\$275	0.5x
Uber	7,666	7,216	-\$450	0.9x
上場投資 合計 (グロス)^{*3}	\$9,587	\$12,978	+\$3,390	

1ドル= 108.83円(2020年3月31日TTM)で換算

1. 累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額(ヘッジ影響含む)。売却済の投資先の売却価額は取引手数料考慮後、税金および諸費用考慮前。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。諸費用等考慮前のリターンを掲載。

2. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。累計リターンを累計投資額で除して算出。管理報酬、成功報酬、支払利息、その他の費用を控除しない総額ベースにて算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため掲載していない。

3. 上場投資 合計: SVF1からの初期投資以降に上場した銘柄の合計

SVF1 投資成果 (2020年3月末時点)

(\$ bn)

		(a) *2 累計投資額	(b) *1 累計リターン (グロス)	(c) = (b) - (a) 累計損益 (グロス)
(A)	上場投資 合計	\$9.6	\$11.0	+\$1.4
(B)	未上場投資+売却済投資 合計	\$71.4	\$69.2	-\$2.2
(C)=(A)+(B)	SVF1 合計 (SBG連結目線)	\$81.0	\$80.2	-\$0.8

		(d) 累計支払額	(e) 価値合計
	SBG 合計 (ネット)	\$24.4	\$22.5

(内訳)

SVF1の純資産価値におけるSBGの持分

\$20.9

SBGへ分配済の金額 *3

\$1.6

SBGが受け取る成功報酬 *4

-

1.累計リターン=売却前の投資先の公正価値+売却済の投資先の売却価額。SVF1の各社への投資から得られるSBGのリターンは、コミットメントに占めるSBGの割合に応じて比例配分される金額及びファンドの運営管理者として受け取る金額の合計であり、ファンド全体のリターンとは一致しない。ヘッジ影響を考慮。諸費用等考慮前。

2.累計投資額：SVF1開始から2020年3月31日までの累計投資額。売却済の投資（NVIDIA、Flipkart等）を含む。NVIDIAは2019年1月、Flipkartは2018年8月にそれぞれ精算済み。ヘッジ影響を考慮。

3.SBGへ分配済の金額：SVF1開始時から2020年3月31日までに分配済の金額。

4.SBGが受け取る成功報酬：SBIA UKを通じて、SVF1開始時から2020年3月31日までにファンドの運営管理者として得た成功報酬の合計。投資期間終了以降に全額の支払いが行われた、過去に売却した投資案件に係る成功報酬は、クローバック条項の対象。

SBG連結目線：NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む

Sum of the Partsの定義および算出方法（2020年5月18日時点）

i. 純有利子負債

- ・純有利子負債 = 純有利子負債(SBG)
- ・純有利子負債(SBG) = 有利子負債(SBG) - 現預金等(SBG)
- ・有利子負債(SBG) = 有利子負債(連結) - 子会社有利子負債(独立採算)
- ・有利子負債(SBG): 以下の(a), (b), (c), (d)を調整
 - (a) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債：連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (b) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債：連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (c) 2017年11月実行 円建てハイブリッドローン：連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (d) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の調達金額（コスト控除前）の合計額
- ・現預金等(SBG): 以下の(e), (f), (g)の影響を考慮
 - (e) 2020年3月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払いの見込み額
 - (f) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の調達金額の合計額
 - (g) 2020年4月1日から2020年4月30日までにSBGが取得した自己株式の取得価額の総額
- ・有利子負債(連結): ジャパンネット銀行の銀行業の預金を含まない
- ・子会社有利子負債(独立採算): SBKK, スプリント, SVF1, Arm等の有利子負債の合計

ii. 保有株式価値

- ・アリババ: 2019年12月末時点のSBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- ・SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- ・Tモバイル: 2020年4月1日時点のSBGの保有株式数（スプリントとTモバイルの合併による取引実行後のTモバイルへの引き渡し株式数を除く）に同社株式の株価を乗じて算出
- ・Arm: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- ・SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ・その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

iii. 株主価値

- ・株主価値 = 保有株式価値 - 純有利子負債

iv. 純有利子負債/保有株式率 (LTV)

- ・純有利子負債/保有株式率 = 純有利子負債 ÷ 保有株式価値
- 純有利子負債：以下の(h), (i), (j)を控除
 - (h) アリババ株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額、および、同社株式を対象としたカラー契約（2019年11月締結済み）の株式先渡契約金融負債の合計額
 - (i) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の調達金額（コスト控除前）の合計額
 - (j) SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額
- 保有株式価値：以下の(k), (l), (m)を控除
 - (k) アリババ株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額、および、同社株式を対象としたカラー契約（2019年11月締結済み）の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
 - (l) 2020年4月および5月に締結された、アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（先渡契約・フロア契約・カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
 - (m) SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額

v. その他

- ・株価: 日本市場は2020年5月18日終値、米国市場は2020年5月15日終値
- ・為替: 1ドル = 107.00円

※SBG = ソフトバンクグループ株式会社, SBKK = ソフトバンク株式会社, Tモバイル = T-Mobile US, Inc., SVF = SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド

※別段記載のない限り2020年3月末時点のデータに基づいて算出

※別段記載のない限り税金考慮前

Sum of the Partsの定義および算出方法（2019年12月末時点）

i. 純有利子負債

- 純有利子負債 = 純有利子負債(SBG)
- 純有利子負債(SBG) = 有利子負債(SBG) - 現預金等(SBG)
- 有利子負債(SBG) = 有利子負債(連結) - 子会社有利子負債(独立採算)
- 有利子負債(SBG): 以下の(a), (b), (c)を調整
 - (a) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債：連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (b) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債：連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (c) 2017年11月実行 円建てハイブリッドローン：連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
- 現預金等(SBG): 以下の影響を考慮
 - 2019年12月末時点で完了済みのSBGからSVF1への資産移管による資金回収及びキャピタルコールの支払いの見込み額
- 有利子負債(連結): ジャパンネット銀行の銀行業の預金を含まない
- 子会社有利子負債(独立採算): SBKK, スプリント, SVF1, Arm等の有利子負債の合計

ii. 保有株式価値

- アリババ: 2019年9月末時点のSBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- SBKK: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- スプリント: SBGの保有株式数に同社株式の株価を乗じて算出
- Arm: SBGによる取得時の対価を基準とし、SVF1の保有株式数を除いて算出
- SVF: SVF1の保有資産価値相当におけるSBGの持分 + 成功報酬の見込金額等
- その他: 主にSBGが保有する未上場株式等の公正価値に基づいて算出

iii. 株主価値

- 株主価値 = 保有株式価値 - 純有利子負債

v. その他

- 株価: 日本市場は2019年12月30日終値、米国市場は2019年12月31日終値
- 為替: 1ドル = 108.68円

※SBG = ソフトバンクグループ株式会社, SBKK = ソフトバンク株式会社, SVF = SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド

※別段記載のない限り2019年12月末時点のデータに基づいて算出

※別段記載のない限り税金考慮前